



Houlihan
Lokey

Measurement & Metrology Sector Update

CY26 1Q

ご挨拶

レポートをご覧の皆様へ

フーリハン・ローキーのインダストリアルテクノロジーチームより、計測・測定セクター四半期アップデートの最新版をお届けします。

国内・海外各社ともに2025年4月-2026年3月期業績は、半導体や生成AI向けデータセンターの需要継続を背景に、多くの企業が増収増益を達成しました。

当セクターにおいては、2026年2月の米国・イスラエルによるイランへの軍事攻撃開始を受けた株価暴落以降、堅調な業績推移を背景として多くの企業の株価が回復傾向にあり、世界的な金利高止まりやトランプ政権発足に伴う不確実性の増大などの影響を受けつつも、多くのサブセクターにおいて、株価パフォーマンスはインデックスを上回る結果となっています。

M&A市場に目を向けると、足許のマクロ状況を踏まえ、各社における投資抑制傾向が継続しております。一方で、ソフトウェア技術の獲得やサービス領域強化を企図した大型買収や、ファンドをスポンサーとする大型の非公開化案件(MBO)が発表されるなど、将来の成長を見据えた再編の動きは徐々に活発化してきております。

2025年4月-2026年3月期においては日本ではKKRとJICが参画した、測量機器および光学機器を展開するトプコンの非公開化、海外ではKKRによる英精密計測機器メーカーSpectrisの非公開化といった大型案件が発表されています。

本レポートが本業界に関する直近動向の整理の一助となりましたら幸いです。掲載を希望される情報やコンテンツ、ご質問やお気づきの点がございましたら、お気軽に下記担当者までご連絡ください。

皆様からの忌憚なきご意見をお待ちしております。

HLインダストリアルテクノロジーチーム

2026年8月

インダストリアルテクノロジーセクター カバレッジチーム

セクター情報掲載Webサイト



村井 慎
Managing Director
Shin.Murai@HL.com
+81-80-9022-1577

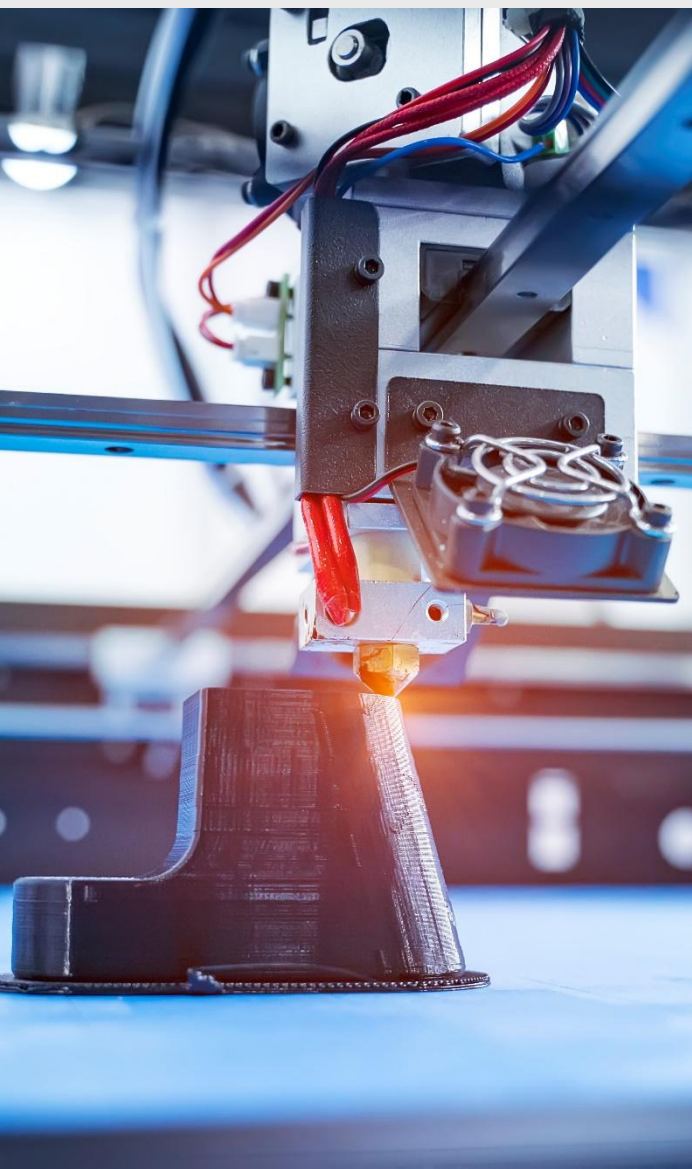
日本最大級のM&Aコンテンツサイト
フーリハン・ローキー「[インサイト](#)」

[フーリハン・ローキーHP](#)

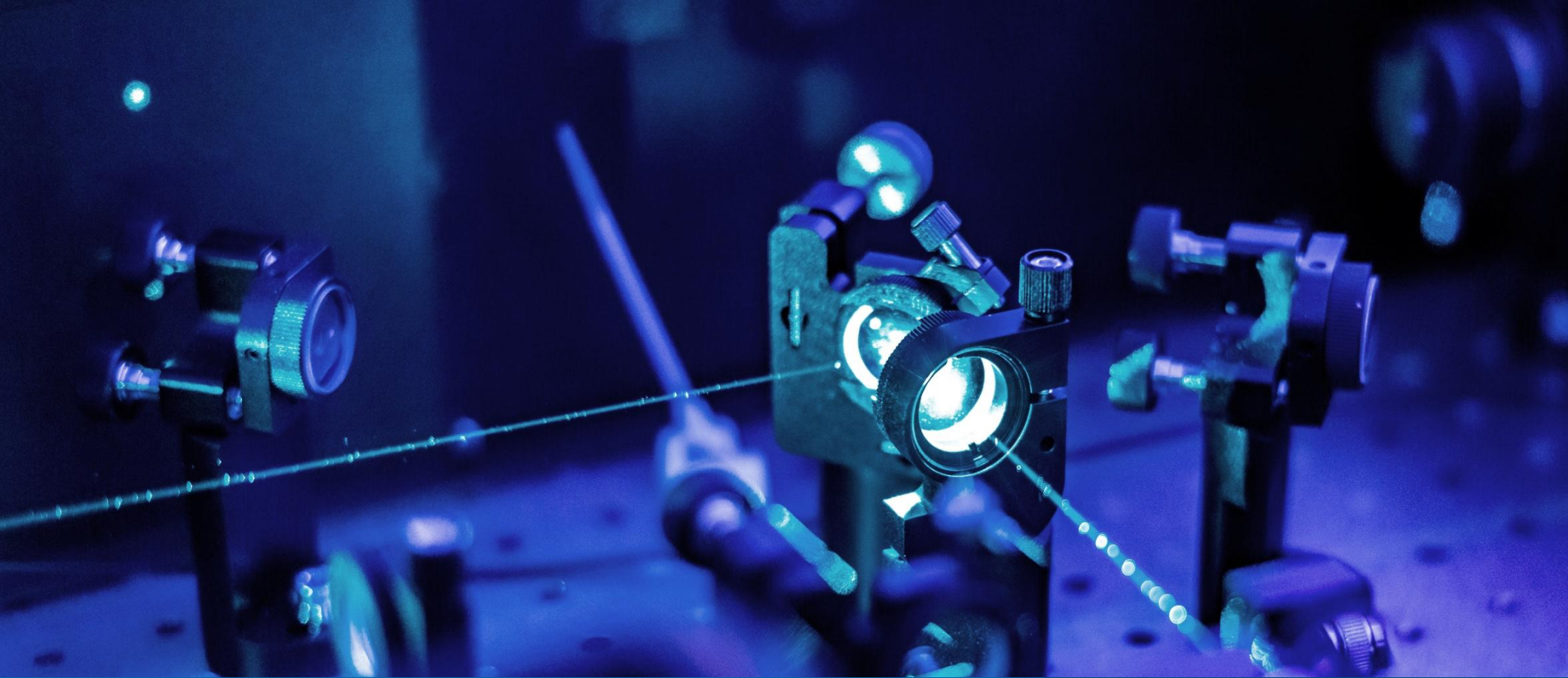


Houlihan Lokey





01	業績アップデート	4
02	株価・バリュエーション推移	16
03	M&A動向	22
04	Appendix. - Data Sheet - 国内主要企業の財務トレンド	34



業績アップデート

01

本レポートにおけるサブセクター区分と採用企業一覧

本セクターの主な上場企業および財務数値が取得可能な非上場企業について、下記の定義に基づいて各社をサブセクター毎に分類

サブセクター区分	定義	採用企業
国内総合計測・測定	- 計測・測定関連事業を中心に展開する企業群 - 対象領域が多岐にわたる企業、以下の領域に関するソリューションを展開する企業 ➢ 電気・ガス・温度・湿度・圧力・流量測定 ➢ 環境計測 ➢ ラボ用分析機器 ➢ 電子顕微鏡・光学顕微鏡 ➢ 光センサ・分光器・分光センサ ➢ レーザー ➢ X線カメラ・センサ	KEYENCE SHIMADZU Excellence in Science HAMAMATSU HORIBA ACCRETECH JEOL Anritsu HIOKI 東陽テクニカ GLT TDK KYOWA ONO SOKKI Rigaku Mitutoyo Hitachi High-Tech
海外総合計測・測定		ThermoFisher SCIENTIFIC danaher. AMETEK Agilent Technologies FORTIVE KEYSIGHT TECHNOLOGIES METTLER TOLEDO Halma TELEDYNE TECHNOLOGIES INCORPORATED revvity BRUKER RENISHAW OXFORD INSTRUMENTS
国内自動化・制御	- 自動化ソリューションにおいて制御技術を中心に、製造ライン内での計測・測定ソリューションも展開する企業群	OMRON YOKOGAWA ◆ azbil CHINO NIRECO
海外自動化・制御	➢ 制御(計装)システム ➢ マシンビジョンシステム ➢ 流量制御(フローコントロール) ➢ 表面検査	EMERSON HEXAGON TECAN. SIEMENS Schneider Electric
国内メーター	- 電気・ガス・水などのメーターを主力製品とする企業群	NKS 長野計器 榮知時計電機株式会社 OSAKI OVAL
国内その他 コングロマリット	- 多角的に展開する事業の一部にて計測・測定関連事業も展開している企業群	FUJIFILM Fe 富士電機 Nikon KONICA MINOLTA

国内各社業績の状況(LTM／直近12ヶ月)

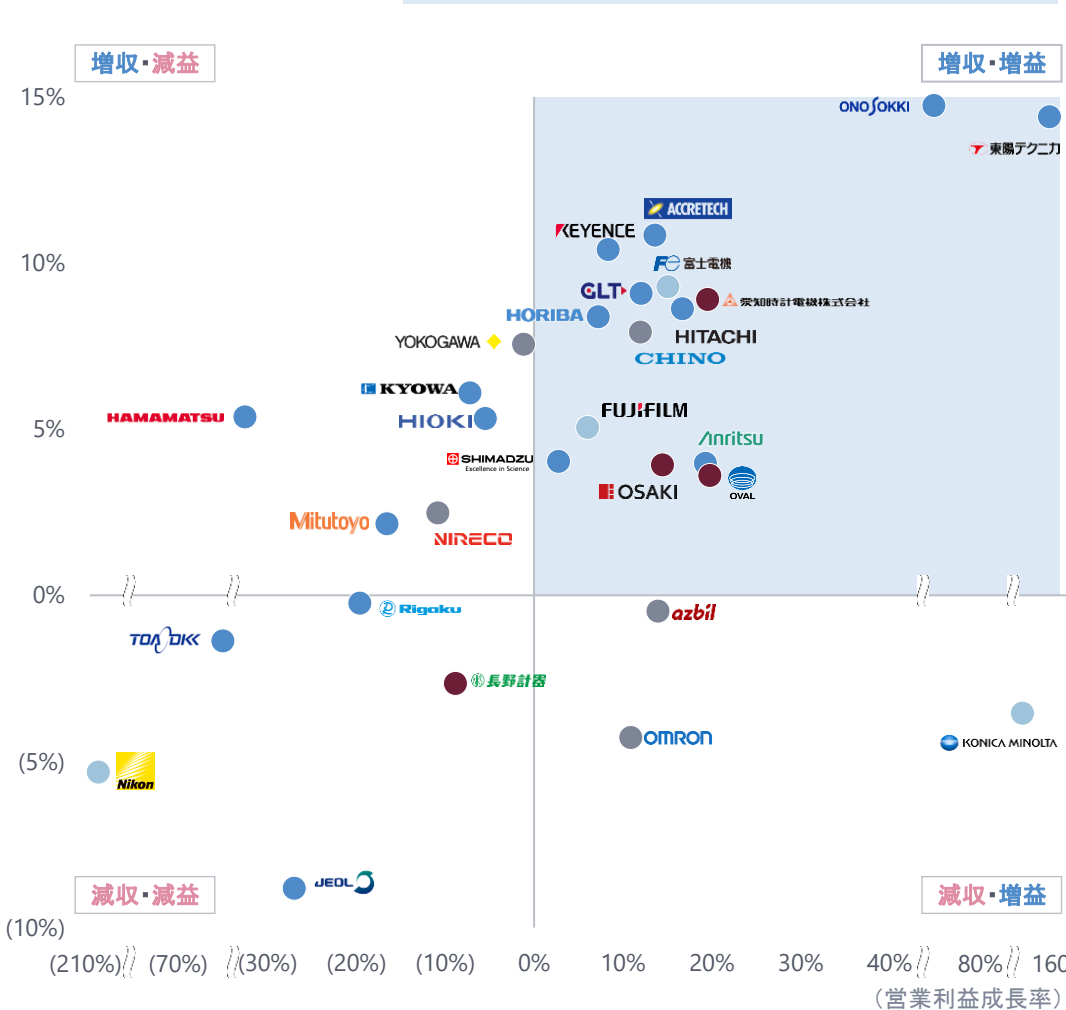
EV向け需要の低迷や中国経済の減速などの影響は一部あったものの、半導体や生成AI向けデータセンターの需要継続を背景に、多くの企業が増収増益を継続。一方、利益面では先行投資や部材・人件費などのコスト増加の影響で一部減益も散見

売上高・営業利益成長率(前年同LTM⇒LTM(直近12ヶ月))⁽¹⁾

(億円)		売上高(LTM)			営業利益(LTM)		
		24/3	25/3	26/3	24/3	25/3	26/3
国内総合計測・測定	アンリツ	1,100	1,130	1,175	95	120	143
	小野測器	118	125	144	2	4	7
	キーエンス	9,673	10,591	11,693	4,950	5,498	5,958
	共和電業	154	155	164	13	14	13
	ジーエルテクノHD ⁽²⁾	NA	433	472	57	63	71
	島津製作所	5,119	5,390	5,607	728	717	737
	東亜ディーケーケー	174	181	178	18	13	5
	東京精密	1,347	1,505	1,668	253	297	337
	東陽テクニカ	331	321	367	33	14	36
	日本電子	1,743	1,967	1,794	275	356	260
	浜松ホトニクス	2,138	2,067	2,178	452	228	154
	日置電機	382	400	421	72	77	73
	日立ハイテク	7,231	7,565	8,217	752	868	1,013
国内自動化・制御	堀場製作所	2,950	3,190	3,457	469	501	537
	ミットヨ ⁽³⁾	1,445	1,519	1,552	111	69	57
	リガク	799	917	915	153	180	145
	アズビル	2,909	3,004	2,989	369	415	473
国内メーター	オムロン	8,188	8,018	7,674	343	540	599
	チノー	274	293	316	22	29	32
	ニレコ	99	108	110	14	19	17
	横河電機	5,402	5,624	6,048	787	835	826
国内その他コングロマリット	愛知時計電機	512	543	591	36	39	47
	大崎電気工業	951	971	1,009	59	57	65
	オーバル	143	150	156	15	14	17
	長野計器	679	695	677	72	77	70
国内その他コングロマリット	コニカミノルタ	11,600	11,279	10,877	305	227	525
	ニコン	7,172	7,153	6,772	421	152	(153)
	富士電機	11,032	11,234	12,276	1,057	1,175	1,353
	富士フイルム	29,609	31,958	33,570	2,767	3,302	3,502

※表内ブルー・ハイライト箇所は前年同期比で増収 / 増益

(売上高成長率)



出所: Capital IQ、決算短信、決算説明会資料

(1) 各企業は50音順に記載

(2) ジーエルテクノの24/3期業績は、統合前のジーエルサイエンスの数値を使用

(3) ミットヨについては、四半期決算を開示していないため、通期(2023/12期、2024/12期、2025/12期)の数値を使用

海外各社業績の状況(LTM／直近12ヶ月)

一部学術・政府機関向け需要の減少や関税・為替による影響は見られたものの、防衛・航空宇宙、半導体、バイオ医薬品、データセンター関連需要の拡大を背景に多くの企業で増収傾向が継続

売上高・営業利益成長率(前年同LTM⇒直近LTM(直近12ヶ月))⁽¹⁾

(USD mn)		売上高(LTM)			営業利益(LTM)		
		24/3	25/3	26/3	24/3	25/3	26/3
海外総合計測・測定	Agilent	6,591	6,628	7,232	1,396	1,587	1,738
	AMETEK	6,736	6,937	7,598	1,750	1,819	1,998
	Bruker	3,001	3,446	3,459	443	393	261
	Danaher	23,737	23,820	24,778	5,200	5,150	5,452
	Fortive	6,129	3,550	4,235	1,130	643	747
	Halma	2,556	2,868	3,462	473	550	711
	Keysight	5,168	5,108	6,088	1,132	851	1,076
	Mettler-Toledo	3,786	3,830	4,090	1,088	1,100	1,136
	Oxford Instruments ⁽²⁾	574	603	580	80	94	83
	Renishaw ⁽²⁾	835	897	972	144	151	130
	Revvity	2,726	2,770	2,902	359	418	442
	Teledyne	5,602	5,770	6,226	1,038	1,078	1,196
	Thermo Fisher	42,492	42,898	45,197	7,477	7,842	8,487
海外自動化・制御	Emerson Electric	16,529	17,607	18,316	3,041	4,709	4,491
	Hexagon	5,450	5,063	5,427	1,257	1,285	1,054
	Schneider Electric ⁽²⁾	38,828	41,277	45,427	6,428	7,173	7,886
	Siemens	74,980	77,821	79,699	9,337	9,902	9,368
	Tecan group ⁽²⁾	1,196	1,061	1,065	146	86	54

※表内ブルー・ハイライト箇所は前年同期比で増収 / 増益

(売上高成長率)

25% 増収・減益

20%

15%

10%

5%

0%

(5%) 減収・減益

(50%) (40%) (30%) (20%) (10%) 0% 10% 20% 30% 40% (営業利益成長率)

増収増益社数比率: 61.1%

増収・増益

減収・増益

出所: Capital IQ、決算短信、決算説明会資料
(1) 各企業はアルファベット順に記載
(2) Oxford Instruments、Renishaw、Schneider ElectricおよびTecan groupについては四半期業績が非開示のため直近半期の数値を使用

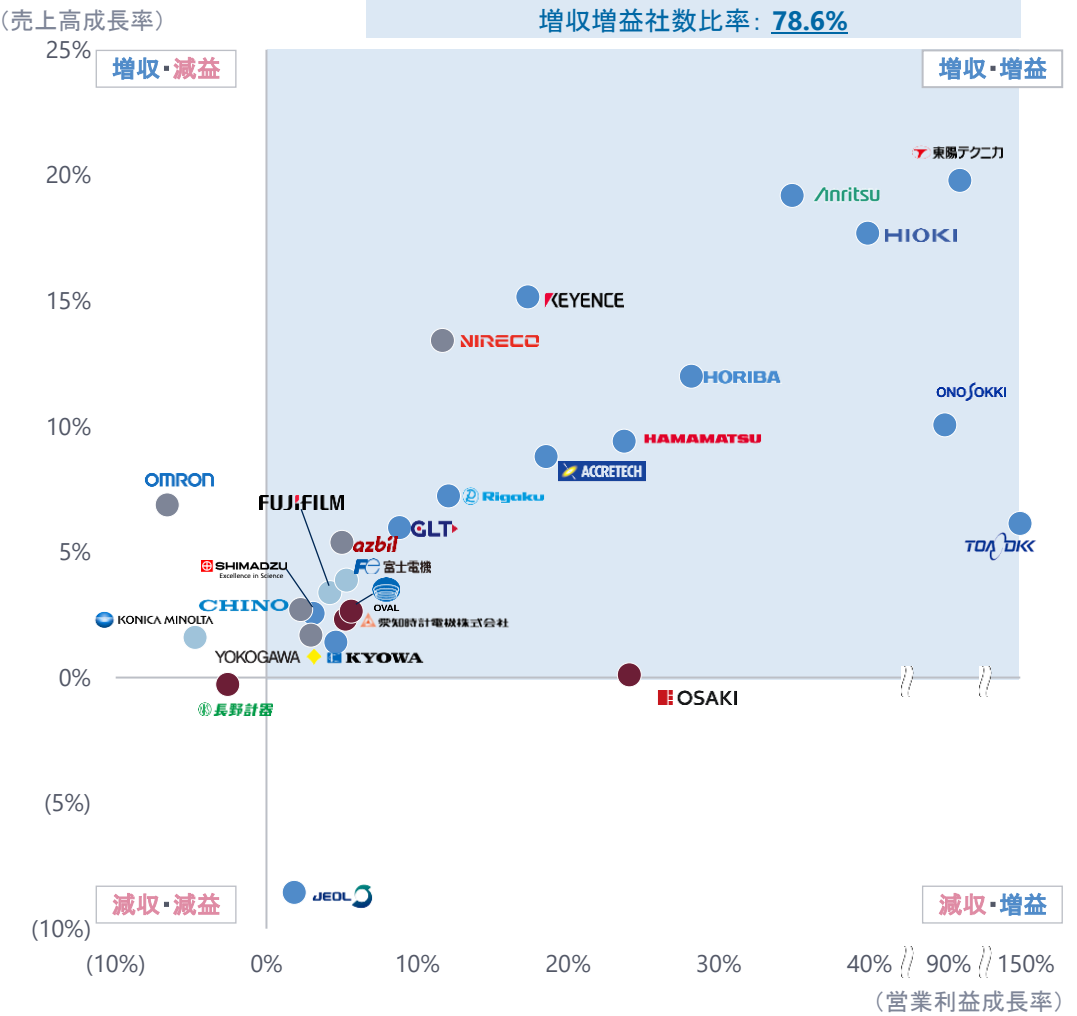
国内各社業績の状況(通期比較 前期 vs. 今期見込)

中東情勢や米国政策の不透明さはあるものの、半導体・データセンター関連投資の引き続き堅調な需要を背景に、多くの企業が増収増益を予想

売上高・営業利益成長率(直近通期⇒今期見込)⁽¹⁾

(億円)		売上高			営業利益		
		FY24	FY25	FY26(E)	FY24	FY25	FY26(E)
国内総合計測・測定	アンリツ	1,130	1,175	1,400	121	148	200
	小野測器	118	136	150	1	6	11
	キーエンス ⁽²⁾	10,591	11,693	13,465	5,498	5,958	6,992
	共和電業	154	163	165	14	14	15
	ジールテクノHD	371	472	500	57	71	77
	島津製作所	5,390	5,607	5,750	717	737	760
	東亜ディーケーケー	181	178	189	13	5	12
	東京精密	1,505	1,668	1,815	297	337	400
	東陽テクニカ	350	326	390	34	19	36
	日本電子	1,967	1,794	1,640	356	260	265
	浜松ホトニクス	2,040	2,121	2,320	321	162	200
	日置電機	393	405	477	75	68	95
	日立ハイテク	7,565	8,217	NA	880	1,026	NA
国内自動化・制御	堀場製作所	3,174	3,331	3,730	483	530	680
	ミットヨ	1,519	1,552	NA	69	57	NA
	リガク	907	942	1,010	186	173	194
	アズビル	3,004	2,989	3,150	415	473	497
	オムロン	8,018	7,674	8,200	540	599	560
国内メーター	チノー	293	316	325	29	32	33
	ニレコ	108	110	125	19	17	19
	横河電機	5,624	6,048	6,150	835	826	850
	愛知時計電機	543	591	605	39	47	50
	大崎電気工業	971	1,009	1,010	57	65	81
国内その他コングロマリット	オーバル	150	156	160	14	17	18
	長野計器	695	677	675	77	70	68
	コニカミノルタ	11,279	10,877	11,050	227	525	500
	ニコン	7,153	6,772	7,400	152	(153)	100
	富士電機	11,234	12,276	12,750	1,175	1,353	1,425
	富士フイルム	31,958	33,570	34,700	3,302	3,502	3,650

※表内ブルー・ハイライト箇所は前年同期比で増収 / 増益



出所: Capital IQ、決算短信、決算説明会資料
(1) 各企業は50音順に記載
(2) キーエンスの今期見込値は、会社予想を公表していないことからアナリスト予想値を使用

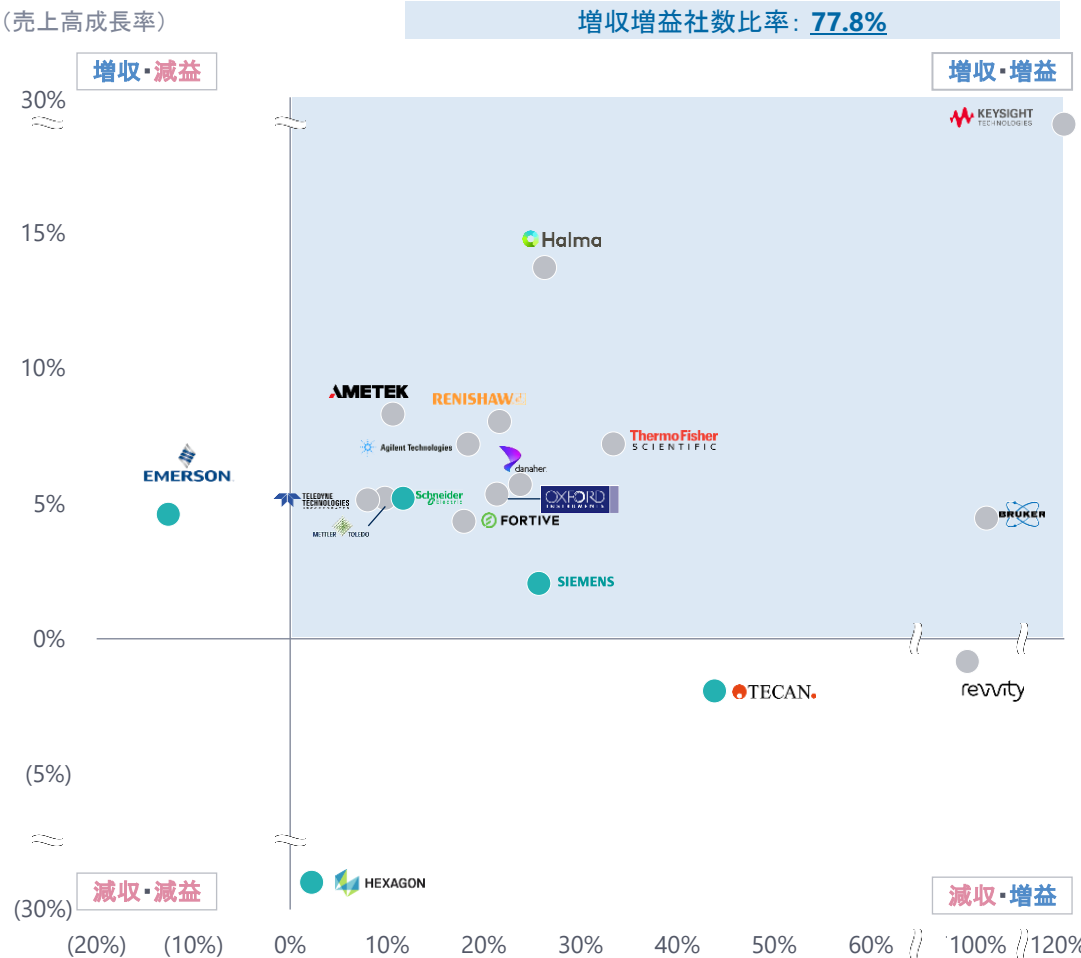
海外各社業績の状況(通期比較 前期 vs. 今期見込)

米国研究予算削減により研究機関向け需要は一部軟調なもの、バイオ医薬品、半導体、データセンターおよび電力インフラ向け需要が引き続き堅調であり、多くの企業が増収増益となる見込み

売上高・営業利益成長率(直近通期⇒今期見込) (1)(2)

(USD mn)		売上高			営業利益		
		FY24	FY25	FY26(E)	FY24	FY25	FY26(E)
海外総合計測・測定	Agilent ⁽³⁾	6,510	6,948	7,447	1,605	1,668	1,975
	AMETEK	6,941	7,401	8,014	1,809	1,936	2,141
	Bruker	3,366	3,437	3,589	404	280	540
	Danaher	23,875	24,568	25,964	5,197	5,378	6,659
	Fortive	4,081	4,159	4,339	717	721	850
	Halma ⁽³⁾	2,905	3,410	3,877	557	700	885
	Keysight ⁽³⁾	4,979	5,375	6,897	844	938	2,030
	Mettler-Toledo	3,872	4,026	4,235	1,135	1,132	1,243
	Oxford Instruments ⁽³⁾	573	559	589	92	90	109
	Renishaw ⁽³⁾	874	977	1,055	151	151	184
	Revvity	2,755	2,856	2,832	410	436	805
	Teledyne	5,670	6,115	6,428	1,052	1,161	1,254
	Thermo Fisher	42,879	44,556	47,760	7,727	8,358	11,152
海外自動化・制御	Emerson Electric ⁽³⁾	17,492	18,016	18,842	3,974	4,416	3,861
	Hexagon	5,592	6,369	4,579	1,473	1,198	1,225
	Schneider Electric	39,500	47,143	49,586	6,864	8,180	9,138
	Siemens ⁽³⁾	84,687	92,589	94,468	10,593	10,668	13,411
	Tecan group	1,031	1,113	1,091	83	57	82

※表内ブルー・ハイライト箇所は前年同期比で増収 / 増益



出所: Capital IQ、決算短信、決算説明会資料
(1) 各企業はアルファベット順に記載
(2) 本頁においては、今期見込みについてアナリスト予想値を使用
(3) 2024/12期(実績)と2025/12期(見込)の比較が基本も、AgilentとKeysightは2024/10期(実績)と2025/10期(見込)、HalmaとOxford Instrumentsは2025/3期(実績)と2026/3期(見込)、Emerson ElectricとSiemensは2024/9期(実績)と2025/9期(見込)、Renishawは2024/6期(実績)と2025/6期(見込)を比較

直近決算概要 国内

計測・測定関連事業

会社名	セグメント別決算	概要				
SHIMADZU Excellence in Science 国内総合計測・測定 27/3期 業績見通し: 修正なし 【売上高】 5,750億円 【営業利益】 760億円	セグメント	(億円)	24/4-25/3	25/4-26/3	差異	
	計測機器	売上高	3,479	3,649	+5%	ヘルスケア領域で液体クロマト・質量分析システム、GX/マテリアル領域で環境分析・化学市場向け質量分析システムやガスクロマトグラフ分析システムが増加し増収増益
		セグメント利益	521	526	+1%	
	医用機器	売上高	726	738	+2%	血管撮影システムは日本での導入計画見直しなどで減少したものの、一般撮影システムの新製品は海外を中心に増加し増収。上記に加えプロダクトミックスの良化により増益
		セグメント利益	43	49	+14%	
	産業機器	売上高	723	715	(1%)	油圧機器は産業車両向けで売上が減少した一方、ターボ分子ポンプは半導体製造装置など向けで堅調に推移、リカーリングも採算性が改善した結果、減収増益
		セグメント利益	105	106	+1%	
	航空機器	売上高	387	434	+12%	海外では民間機分野で需要拡大も、為替の影響を受け売上減少。一方、日本の防衛力強化方針に伴い、防衛向け航空機搭載品が増加したことで増収増益
		セグメント利益	61	82	+35%	
	その他	売上高	76	71	(6%)	不動産賃貸、不動産管理、建設舗床業などで構成
		セグメント利益	6	12	+87%	
	連結合計	売上高	5,390	5,607	+4%	
		営業利益	717	737	+3%	
		営業利益率	13.3%	13.1%	(0pt)	
Anritsu 国内総合計測・測定 27/3期 業績見通し: 修正なし 【売上高】 1,400億円 【営業利益】 200億円	セグメント	(億円)	24/4-25/3	25/4-26/3	差異	
	通信計測	売上高	701	688	(2%)	顧客の投資需要の回復でデータセンター関連需要が好調な一方、米国関税政策の不透明さにより顧客の投資意思決定が延伸しており減収。一方で棚卸資産の圧縮などにより、増益
		セグメント利益	84	108	+29%	
	PQA	売上高	282	310	+10%	食品向け品質保証プロセス自動化や省人化を企図した設備投資需要が好調に推移し、特に国内ではメーカーの新製品投入や生産能力増強が後押しとなり、増収増益
		セグメント利益	28	33	+17%	
	環境計測	売上高	85	108	+26%	計測器ベンダーのDEWETRON GmbHを連結子会社化したことにより増収。一方、国内のEV/電池向け試験需要は米国関税の影響などで顧客の投資の延伸が見られ減益
		セグメント利益	9	9	(6%)	
	その他	売上高	61	69	+13%	センシング&デバイス事業、物流、厚生サービス、不動産賃貸事業などで構成
		セグメント利益	15	20	+35%	
	連結合計	売上高	1,130	1,175	+4%	
		営業利益	121	148	+22%	
		営業利益率	10.7%	12.6%	+2pt	

直近決算概要 国内(続き)

計測・測定関連事業						
会社名	セグメント別決算			概要		
HORIBA⁽¹⁾ 国内総合計測・測定 26/12期 業績見通し: 上方修正⁽²⁾ 【売上高】 3,730億円 +280億円 【営業利益】 680億円 +120億円	セグメント	(億円)	25/1-25/3	26/1-26/3	差異	
	エネルギー環境	売上高	258	305	+18%	EVシフトが緩やかになったことにより、 <u>ハイブリッド車開発向けに燃焼計測などの需要が増加</u> したことから、自動車関連事業の販売が増加し、増収増益
		セグメント利益	7	17	+127%	
	バイオヘルスケア	売上高	88	98	+18%	主に欧州における <u>血球計数装置の販売が増加したことに加え、円安の進行により</u> 増収NAも、 <u>ライフサイエンス領域での先行投資継続</u> などで費用が増加し、減益
		セグメント利益	(7)	(7)		
	先端材料半導体	売上高	371	442	+19%	AI・データセンター向け先端半導体需要が牽引し、 <u>アジアにおいて半導体製造装置メーカー向けの販売が増加し</u> 増収。 <u>新施設稼働や開発投資の費用が増加し</u> 減益
		セグメント利益	117	114	(3%)	
	連結合計	売上高	719	845	+18%	
		営業利益	118	125	+6%	
		営業利益率	16.4%	14.8%	(2pt)	

ACCURETECH 国内総合計測・測定 27/3期 業績見通し: 修正なし 【売上高】 1,815億円 【営業利益】 400億円	セグメント	(億円)	24/4-25/3	25/4-26/3	差異	
	計測機器	売上高	371	390	+5%	既存設備の更新需要が安定的に推移したことや、後半にかけて <u>ハイブリッド車生産に関連した追加投資、また航空・宇宙・防衛など成長が見込まれる業界向けの案件を獲得</u> したことなどにより増収。 <u>研究開発の費用により減益</u>
		セグメント利益	54	53	(1%)	
	半導体製造装置	売上高	1,135	1,279	+13%	HBM向けプローバやAIパッケージング工程に向けた <u>グラインダの引き合いが底堅く推移</u> したほか、中国における <u>高精度装置の要求が継続し</u> 受注増。 <u>付加価値の高いプローバの出荷も増加</u> したことで、増収増益
		セグメント利益	243	284	+17%	
	連結合計	売上高	1,505	1,668	+11%	
		営業利益	297	337	+14%	
		営業利益率	19.7%	20.2%	+0pt	

出所: IR資料
(1) 12月決算のため、第一四半期決算の内容を記載
(2) 2026年12月期第1四半期決算短信にて修正

直近決算概要 国内(続き)

計測・測定関連事業						
会社名	セグメント別決算				概要	
YOKOGAWA 	セグメント	(億円)	24/4-25/3	25/4-26/3	差異	
	制御事業	売上高	5,283	5,655	+7%	中国経済の減速で顧客の化学分野の投資が下振れる一方、半導体向けの投資は加速し、さらにUAEをはじめ海外の大口受注や国内再エネ案件も受注したことから増収。 為替の影響など一過性の要因を含む粗利率の悪化により減益
		セグメント利益	776	752	(3%)	
	測定器事業	売上高	299	340	+14%	第3四半期以降、AIデータセンター関連の受注が急増し、増収増益。
		セグメント利益	62	78	+25%	
	新事業他	売上高	42	53	+28%	産業用IoTソリューション事業、不動産関連事業などで構成
		セグメント利益	(3)	(4)	NA	
	連結合計	売上高	5,624	6,048	+8%	
		営業利益	835	826	(1%)	
		営業利益率	14.9%	13.6%	(1pt)	
27/3期 業績見通し：修正なし						
【売上高】6,150億円						
【営業利益】850億円						
CHINO 	セグメント	(億円)	24/4-25/3	25/4-26/3	差異	
	計測制御機器	売上高	97	96	(1%)	半導体・電子部品の製造設備や熱処理装置向けを中心に全体の需要は堅調だったものの、特定顧客向けOEM製品の一時的な需要低迷により減収減益
		セグメント利益	15	15	(2%)	
	計装システム	売上高	100	117	+17%	自動車向け燃料電池評価試験装置や水素エネルギー向け水電解評価装置の需要が継続、空調コンプレッサ評価試験装置も自然冷媒対応機器の需要増で、増収増益
		セグメント利益	16	17	+7%	
	センサ	売上高	86	92	+14%	半導体・電子部品製造装置や熱処理加工向けを中心に需要が好調な他、明陽電機にて製造・販売を手掛ける船舶向け温度センサの増収が寄与し、増収増益
		セグメント利益	17	21	+23%	
	その他	売上高	10	12	+2%	修理・メンテナンスサービスなどで構成
		セグメント利益	3	3	+26%	
	連結合計	売上高	293	316	+8%	
		セグメント利益 ⁽¹⁾	29	32	+12%	
		営業利益率	9.8%	10.2%	+0pt	
27/3期 業績見通し：修正なし						
【売上高】325億円						
【営業利益】33億円						

出所: IR資料
(1) 全社費用考慮後の営業利益を記載

直近決算概要 国内(続き)

計測・測定関連事業						
会社名	セグメント別決算			概要		
azbil 国内自動化・制御 27/3期 業績見通し: 修正なし 【売上高】 3,150億円 【営業利益】 497億円	セグメント	(億円)	24/4-25/3	25/4-26/3	差異	
	ビルディングオートメーション	売上高	1,484	1,564	+5%	新設建物向け分野が減少も、負荷平準化の取組みの進展もあり既設・サービス分野が着実に増加し、海外事業も伸長した結果、増収増益
		セグメント利益	244	289	+19%	
	アドバンスオートメーション	売上高	1,068	1,107	+4%	国内外でPA市場が増加し、FA市場の受注が下期から増加に転じたことから、増収。人件費など経費の上昇や投資の拡大があるも増収効果により増益
		セグメント利益	160	178	+11%	
	ライフオートメーション	売上高	466	333	(29%)	ライフサイエンスエンジニアリング分野において、アズビルテルスターの出資持分を譲渡したことに加え、部材価格高騰や人件費などの各種経費の上昇により、減収減益
		セグメント利益	12	6	(46%)	
	その他	売上高	1	9	NM	グループ内の保険代理業務およびソフトウェア開発業務で構成
		セグメント利益	(0)	0	NA	
	連結合計	売上高	3,004	2,989	(1%)	
		営業利益	415	473	+14%	
		営業利益率	13.8%	15.8%	+2pt	
Nikon 国内その他 コングロマリット 26/3期 業績見通し: 修正なし 【売上高】 7,400億円 【営業利益】 100億円	セグメント ⁽¹⁾	(億円)	24/4-25/3	25/4-26/3	差異	
	デジタルマニファクチャリング	売上高	234	280	+6%	大型装置の販売が好調に推移し増収となった一方、非金融資産に係る減損損失を計上したことなどにより、営業損失が拡大したことにより大幅な減益
		セグメント利益	(152)	(1,062)	NA	
	映像	売上高	2,954	2,901	(2%)	新製品が販売を牽引した一方、製品ミックスの変化やプロモーション費用の増加に加え、関税影響や株式譲渡契約に関連した一時費用などもあり、減収減益
		セグメント利益	413	167	(60%)	
	精機	売上高	2,020	1,673	(17%)	FPD露光装置分野における装置販売台数や半導体露光装置分野におけるArFドライおよび液浸露光装置の販売台数が減少し、セグメント全体では減収減益
		セグメント利益	15	(46)	NA	
	ヘルスケア	売上高	1,165	1,119	(4%)	アイケアソリューション分野で欧米を中心に堅調に推移し、細胞受託生産分野も引き続き好調に推移した一方、米国市場の停滞や関税影響を受けたことなどにより減収減益
		セグメント利益	67	16	(77%)	
	コンポーネント	売上高	741	762	+3%	EUV関連コンポーネントの販売が減少も、電子部品・半導体向け画像測定システムなどの販売が堅調に推移し増収。また構造改革の効果や製品ミックスの変化により増益
		セグメント利益	72	96	+33%	
	その他	売上高	40	37	+22%	-
		セグメント利益	29	14	(34%)	
	連結合計	売上高	7,153	6,772	(5%)	
		営業利益	24	(1,124)	NA	
		営業利益率	0.3%	(16.6%)	NA	

直近決算概要 海外

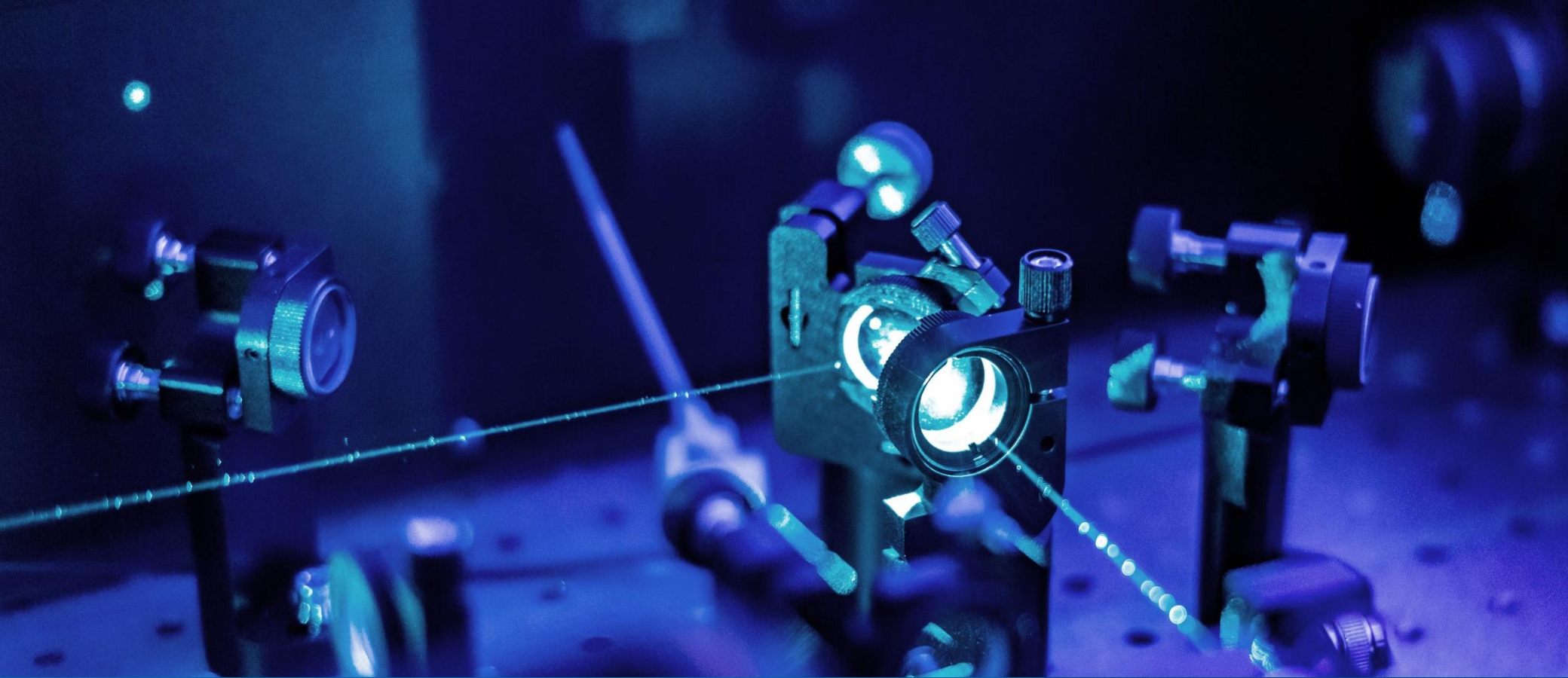
計測・測定関連事業						
会社名	セグメント別決算				概要	
ThermoFisher SCIENTIFIC	セグメント	(USD MM)	25/1-25/3	26/1-26/3	差異	
	Analytical Instruments	売上高	1,677	1,667	(1%)	クロマトグラフィーなどの成長はあったものの、米中の学術・政府機関向け機器の需要減少や電子顕微鏡の落ち込みにより減収。関税・為替影響や事業構成悪化により減益
		セグメント利益	399	355	(11%)	
	Life Science Solution	売上高	1,954	2,219	+14%	製薬・バイオ企業向けのバイオプロダクション事業の需要増や、ろ過・分離事業の買収効果により増収。事業構成の悪化などを強力な生産性向上で補い増益
		セグメント利益	834	954	+14%	
	Specialty Diagnostics	売上高	1,130	1,124	(1%)	診断事業全体の成長はあったものの、営業日数の減少やヘルスケア市場の落ち込みなどが響き減収。一方、強力な生産性向上と為替の好影響により増益
		セグメント利益	304	313	+3%	
	Laboratory Products and Biopharma Services	売上高	5,603	5,995	+7%	臨床研究事業や製薬サービス、研究・安全市場チャネルの力強い成長が牽引し増収。戦略投資や為替などのマイナス影響を生産性向上でカバーして増益
		セグメント利益	731	778	+6%	
	連結合計	売上高	10,364	11,105	+6%	
営業利益		1,716	1,863	+9%		
営業利益率		16.6%	16.9%	+0pt		
AMETEK	セグメント	(USD MM)	25/1-25/3	26/1-26/3	差異	
	Electronic Instruments	売上高	1,144	1,265	+11%	売上成長に加え製造業向け検査機器メーカーであるFARO Technologiesと眼科向け診断機器メーカーのLKC Technologiesの買収効果、為替の影響がプラスに寄与し増収。買収に伴う利益率の希薄化や費用増加で利益率は悪化も、全体としては増益
		セグメント利益	354	373	+5%	
	Electromechanical	売上高	588	664	+13%	継続的な売上成長と業務改善の継続的な恩恵によって利益率も大幅に改善し、増収
		セグメント利益	129	171	+33%	
	連結合計	売上高	1,732	1,928	+11%	
		営業利益	455	515	+13%	
		営業利益率	26.3%	26.7%	+0pt	

直近決算概要 海外(続き)

計測・測定関連事業

会社名	セグメント別決算				概要	
 海外総合計測・測定 2026年12月期 (第1四半期)	セグメント	(USD MM)	25/1-25/3	26/1-26/3	差異	
	Digital Imaging	売上高	757	817	+8%	防衛・民間向けの赤外線画像検出器や無人航空機システムなどの強い需要に加え、光学機器メーカーのQioptiqと電子部品メーカーのMicropacの買収効果により大幅増収。研究開発費が増加したものの、売上増の影響で増益
		セグメント利益	122	142	+16%	
	Instrumentation	売上高	343	361	+5%	検査・測定用機器の売上は減少したものの、海洋向けや環境向け機器の力強い成長(5%)と買収効果が牽引し増収。一方、製品ミックスの悪化の影響で減益
		セグメント利益	93	88	(5%)	
	Aerospace And Defense	売上高	243	278	+14%	航空宇宙向けは微減となったものの、防衛向けエレクトロニクスの大幅な需要増と海洋機器メーカーのMaretronの買収効果により増収。良好な製品ミックスの恩恵などにより増益
		セグメント利益	56	71	+28%	
	Engineered Systems	売上高	107	104	(3%)	エンジニアリング製品およびエネルギーシステムの需要低下の影響を受け減収。一方で良好なプログラムミックスによるプラス効果で大きく利益率は改善し、増益
		セグメント利益	11	12	+8%	
	連結合計	売上高	1,450	1,560	+8%	
営業利益		259	294	+14%		
営業利益率		17.9%	18.9%	+1pt		

 海外自動化・制御 2026年9月期 (第2四半期)	セグメント	(USD MM)	25/1-25/3	26/1-26/3	差異	
	Intelligent Devices	売上高	2,459	2,512	+2%	航空宇宙・防衛、半導体向けテスト・計測機器事業の成長や価格改定効果がプラスに寄与し増収。利益率は低下したものの、コスト削減や計測機器事業の増収効果でカバーし、全体として増収増益
		セグメント利益	621	629	+1%	
	Software & Systems	売上高	1,451	1,503	+4%	中東情勢の影響や中国・欧州での販売数量減少の影響を受けた一方、米州地域における電力・LNG向けの力強い需要と価格改定効果が牽引し増収。原料費のインフレを上回る価格転嫁により増益
		セグメント利益	214	219	+3%	
	Safety & Productivity	売上高	522	547	+5%	アジアや欧州に販売数量が減少したものの、米州での成長と価格改定効果によって増収。利益率は微減したものの、コスト削減効果と材料費高騰を上回る価格改定効果が収益に寄与し、全体として増収増益
		セグメント利益	105	109	+3%	
	連結合計	売上高	4,432	4,562	+3%	
		純利益	430	618	+44%	
		利益率	9.7%	13.5%	+4pt	



株価・バリュエーション推移

02

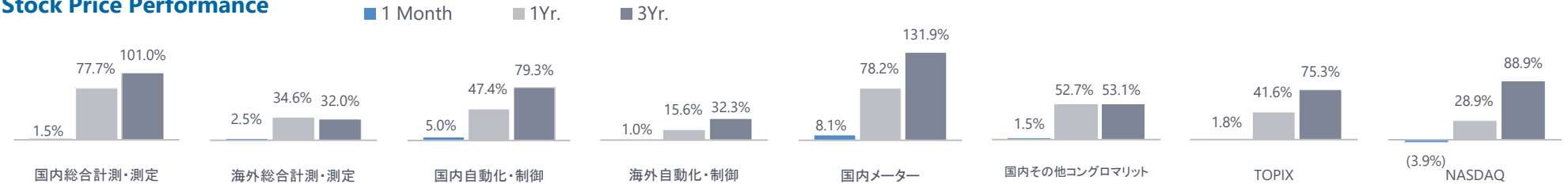
株価・バリュエーションサマリー

市況の回復に伴い、各社概ね堅調な業績推移を見込んでいることから、足元の株価は回復基調であり、多くのサブセクターでインデックスを上回る上昇を記録。海外勢のEBITDA成長や収益性は国内勢を大きく上回っており、依然としてマルチプルの差が大きい状況は継続

Trading Analysis Summary

	Stock Price Performance ⁽¹⁾			Multiples ⁽²⁾				FY2025A–2026E Growth		FY+1 Margin
	1 Month	1 Yr.	3Yr. ⁽³⁾	EV/EBITDA	EV/EBIT	PER	PBR	Revenue	EBITDA	EBITDA %
国内総合計測・測定	1.5%	77.7%	101.0%	13.4x	17.6x	25.6x	2.8x	9.5%	22.4%	20.2%
海外総合計測・測定	2.5%	34.6%	32.0%	19.6x	22.9x	35.1x	4.4x	8.1%	19.1%	27.3%
国内自動化・制御	5.0%	47.4%	79.3%	10.9x	14.4x	23.4x	2.0x	6.0%	2.3%	15.4%
海外自動化・制御	1.0%	15.6%	32.3%	15.4x	23.7x	26.8x	3.4x	(1.5%)	37.7%	27.4%
国内メーター	8.1%	78.2%	131.9%	6.9x	8.8x	13.6x	1.2x	1.2%	5.1%	12.1%
国内その他コングロマリット	1.5%	52.7%	53.1%	10.0x	13.3x	14.6x	1.4x	4.5%	23.9%	12.1%
TOPIX	1.8%	41.6%	75.3%	--	--	--	--	--	--	--
NASDAQ	(3.9%)	28.9%	88.9%	--	--	--	--	--	--	--
DAX	0.1%	5.8%	55.1%	--	--	--	--	--	--	--

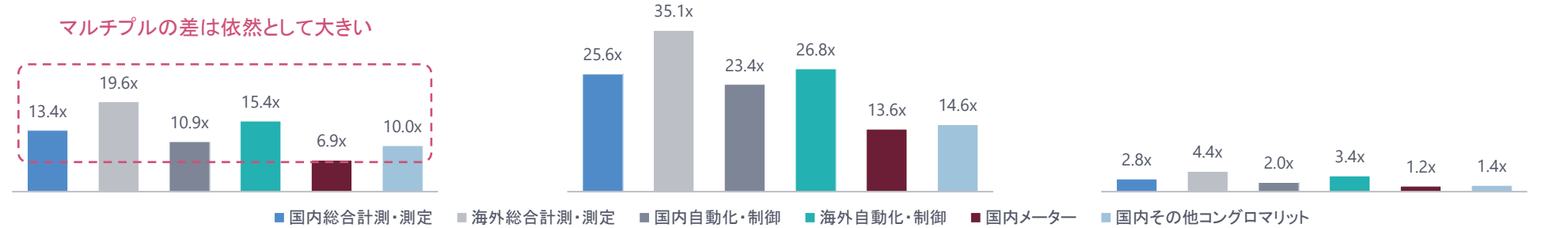
Stock Price Performance



EV/EBITDA Multiple

PER

PBR

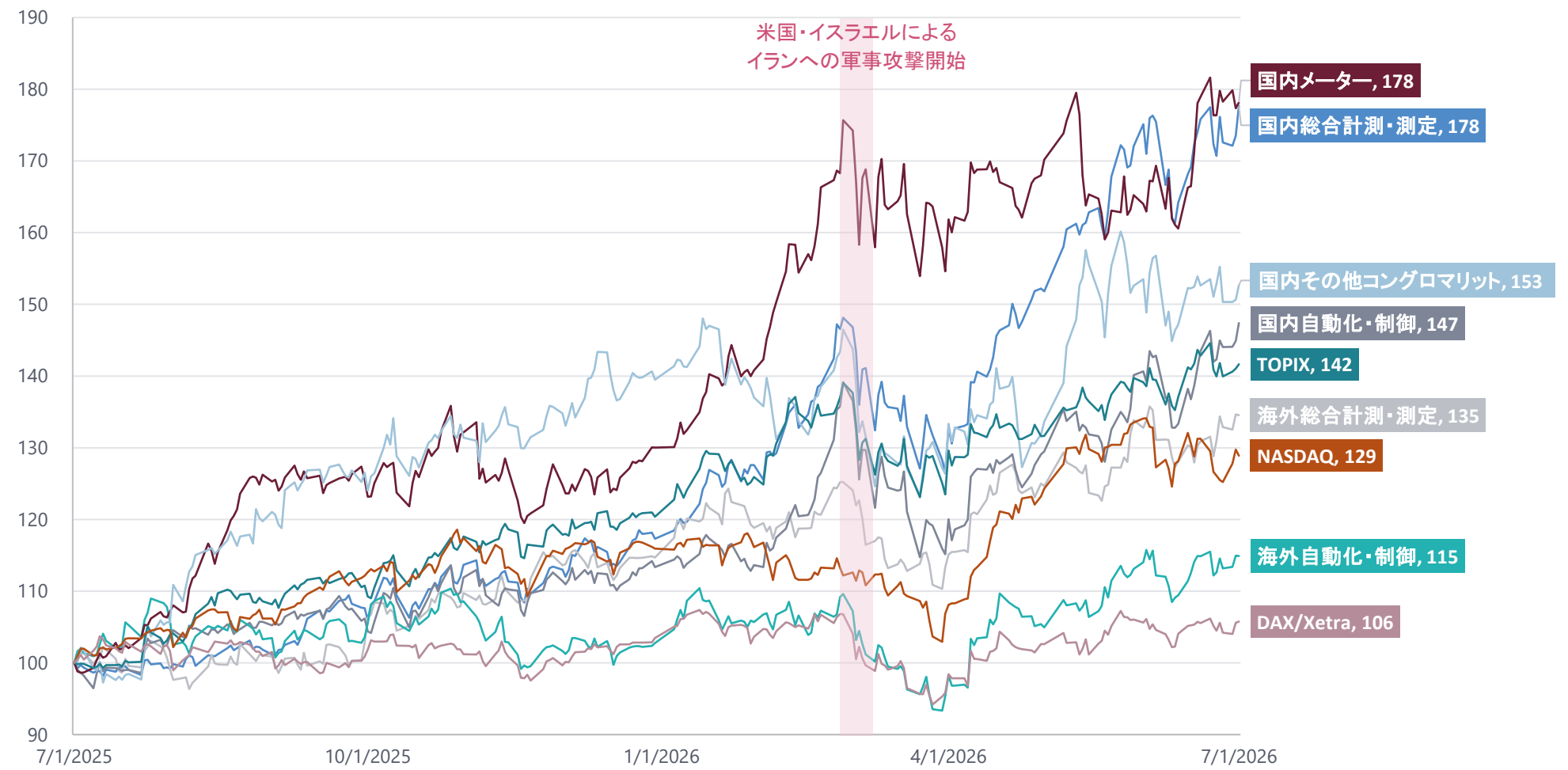


出所: Capital IQ
(1) 2026年7月1日時点の株価を参照して各種計算。国内総合計測・測定については、すべての計算からジーエルテクノHD（一昨年経営統合）、リガクおよび日立ハイテック・ミットヨ（非上場）の値を除く
(2) Multiples について、PBR以外はFY+1の数字、PBRはLTMを使用

株価推移 業種別株価推移(25年7月1日～26年7月1日)

中東情勢の不安定化を受けて26年2月頃に株価が急落したものの、足元の株価は回復傾向。特に、国内メーターおよび国内総合計測・測定セクターは、顧客企業の半導体・データセンター関連投資の増加などを受けて堅調な業績推移を見込む企業が多く、株価はインデックスをアウトパフォーム

株価指数推移(業界別)

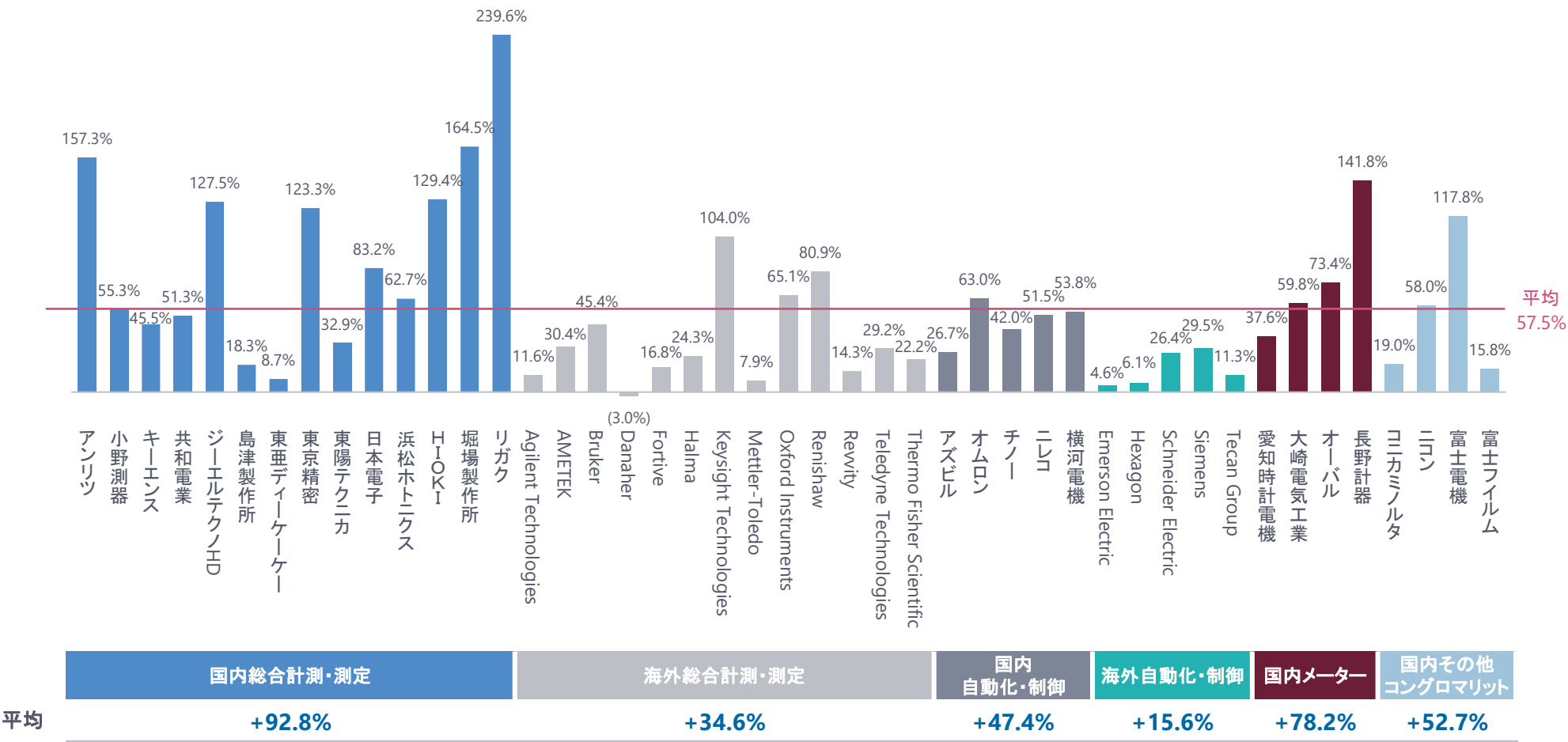


出所: Capital IQ
(1) 2025年7月1日時点の数値を100として指数化し、各業界ごとの平均値を使用
(2) ジーエルテクノHDおよびリガクHDは、国内総合計測・測定の平均値から除外

株価推移 個別企業株価騰落率 - 1年前(25年7月1日) vs 直近(26年7月1日)

多くの企業が前年比で業績伸長を実現し、マクロ環境の不確実性が残る中でも株価は上昇傾向

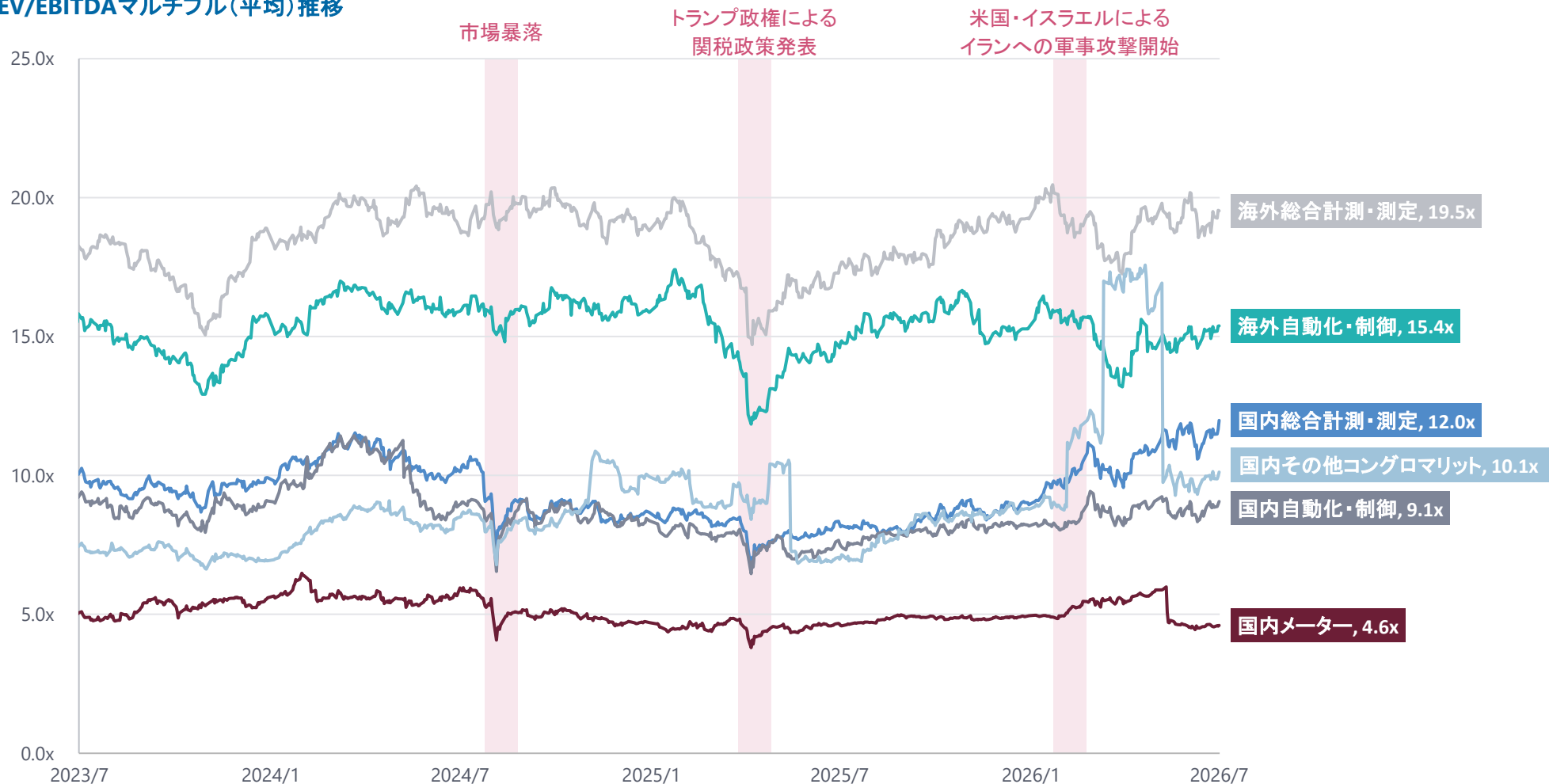
各社株価騰落率



バリュエーション推移 業種別バリュエーション推移(23年7月1日から26年7月1日)

ソフトウェアやソリューション提供に強みを持つ海外勢のバリュエーションは、マクロ環境の悪化による市場の停滞感が強まる中でも安定して高いマルチプルで推移。国内勢のマルチプルは、国内メーターを除き、昨年後半以降は概ね上昇傾向

EV/EBITDAマルチプル(平均)推移



出所: Capital IQ

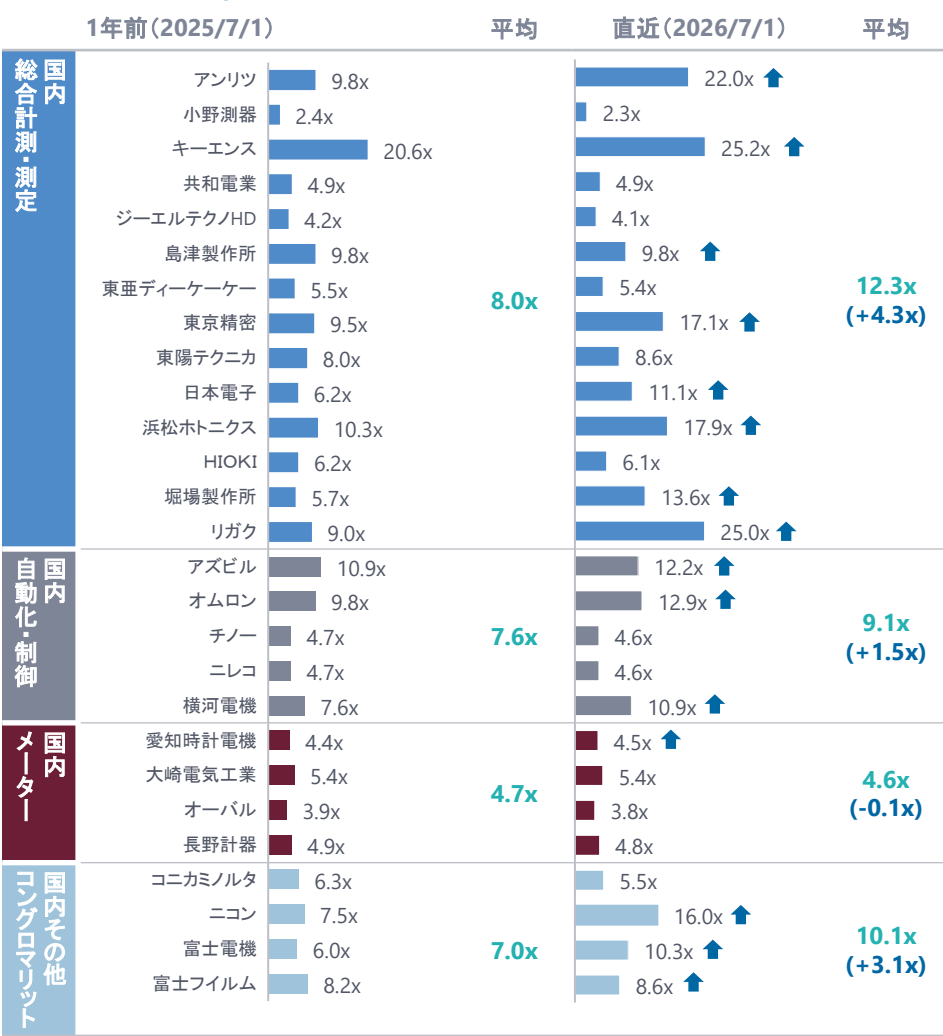
(1) Capital IQが提供する今期見込EBITDAのアナリストコンセンサス予想値が取得可能な企業については当該数値に基づくマルチプル、取得できない企業については会社予想値を採用

(2) 国内総合計測・測定の平均値の計算からはジーエルテック/HDおよびリガクを除外

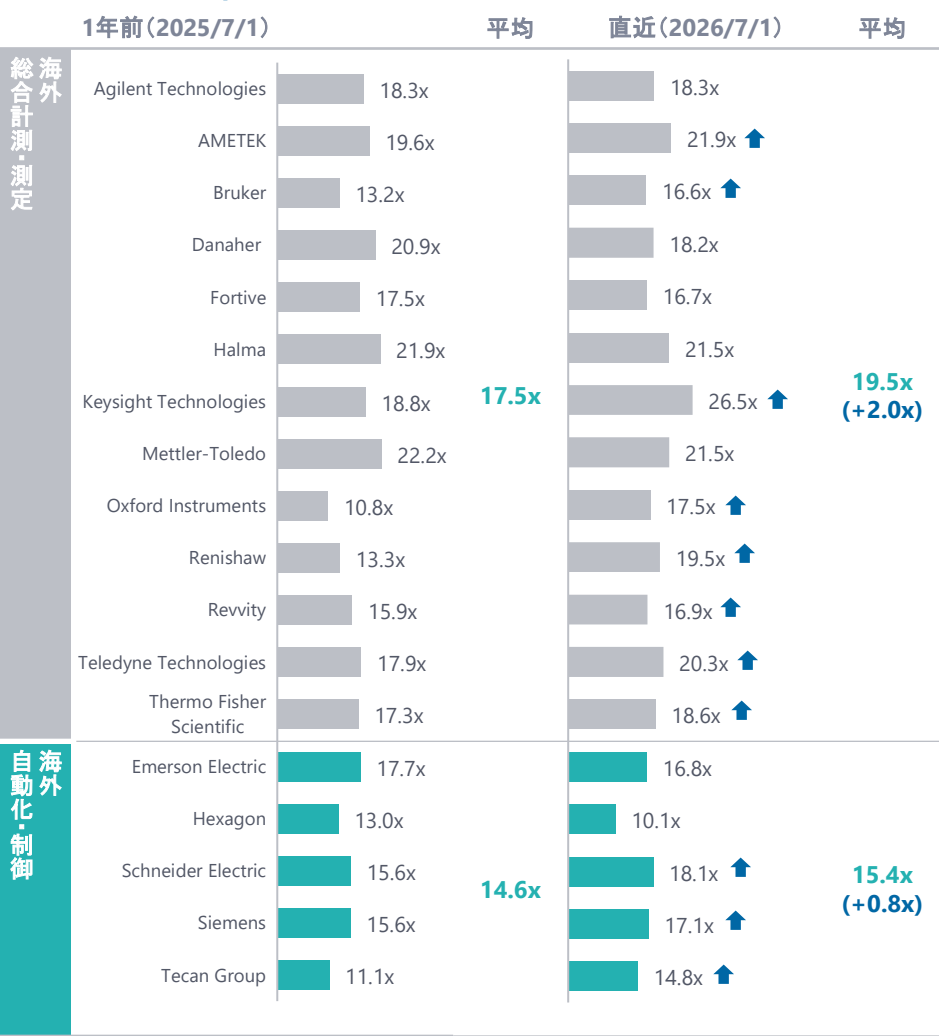
個別企業バリュエーション騰落率 1年前(25年7月1日) vs 直近(26年7月1日)

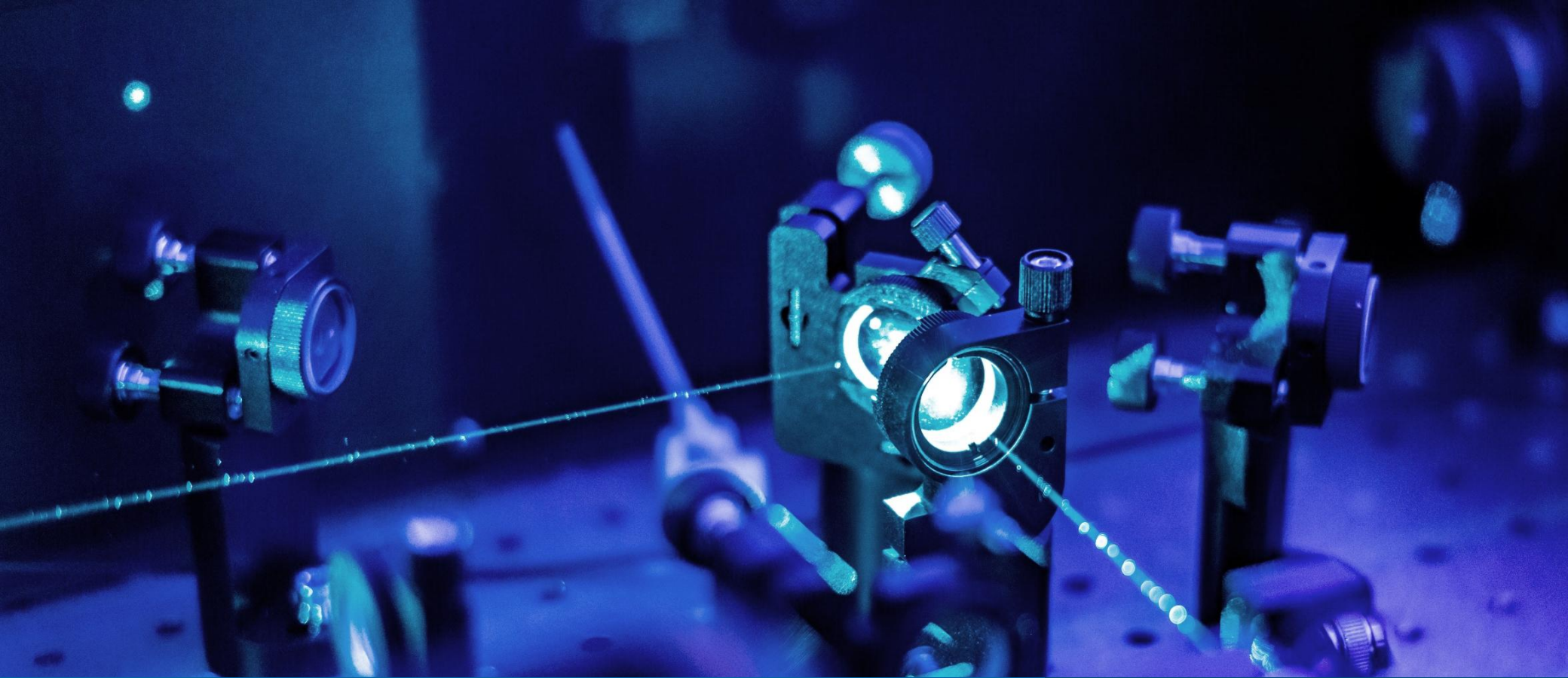
国内・海外企業とも、業績成長を見込む企業が太宗を占めており、各社の計算上のバリュエーションは上昇傾向

1年前と直近のEV/EBITDAマルチプル比較 (国内)



1年前と直近のEV/EBITDAマルチプル比較 (海外)





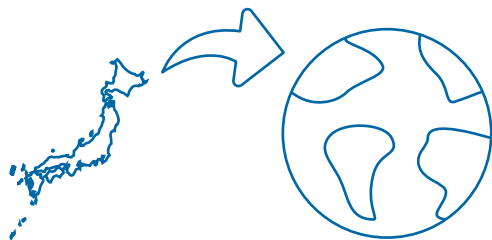
M&A動向

03

2026年のM&Aのテーマ

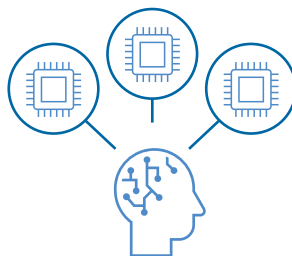
① 海外企業買収の加速

- 日本企業による海外の成長市場への拡大や、製造拠点・新技術獲得の動きが加速
- 計測・測定機器のポートフォリオを拡充し、グローバルでの総合力を強めるような買収も増加



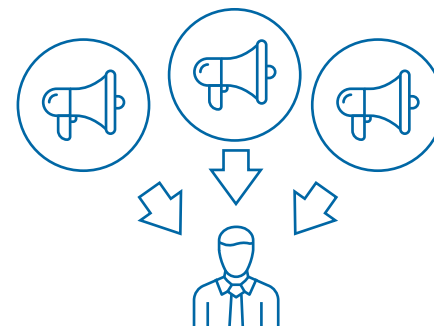
② 先端半導体領域への投資

- 生成AIに代表される先端半導体市場に関連した領域への投資が加速



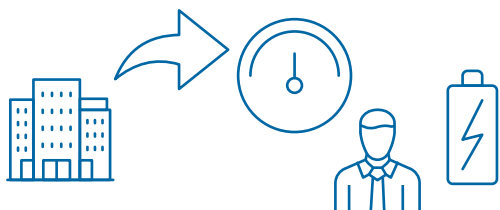
③ 外圧をきっかけとした業界再編

- アクティビスト・エンゲージメントファンドなどの圧力により、業界再編の動きが活発化
- 同意なき買収のリスクなど、上場リスク・コストの高まりを受け、非公開化の動きが加速



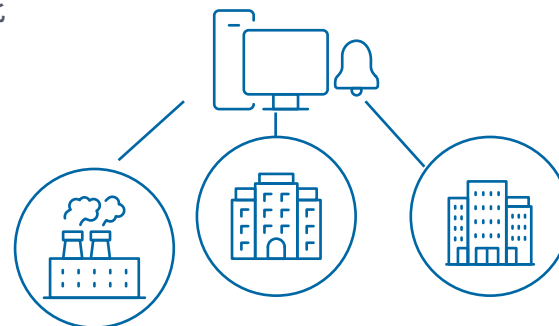
④ 計測・測定関連サービス領域への展開

- 技術力・研究開発力を生かした計測・測定受託事業やメンテナンス、消耗品関連サービス領域への展開で顧客の課題を解決



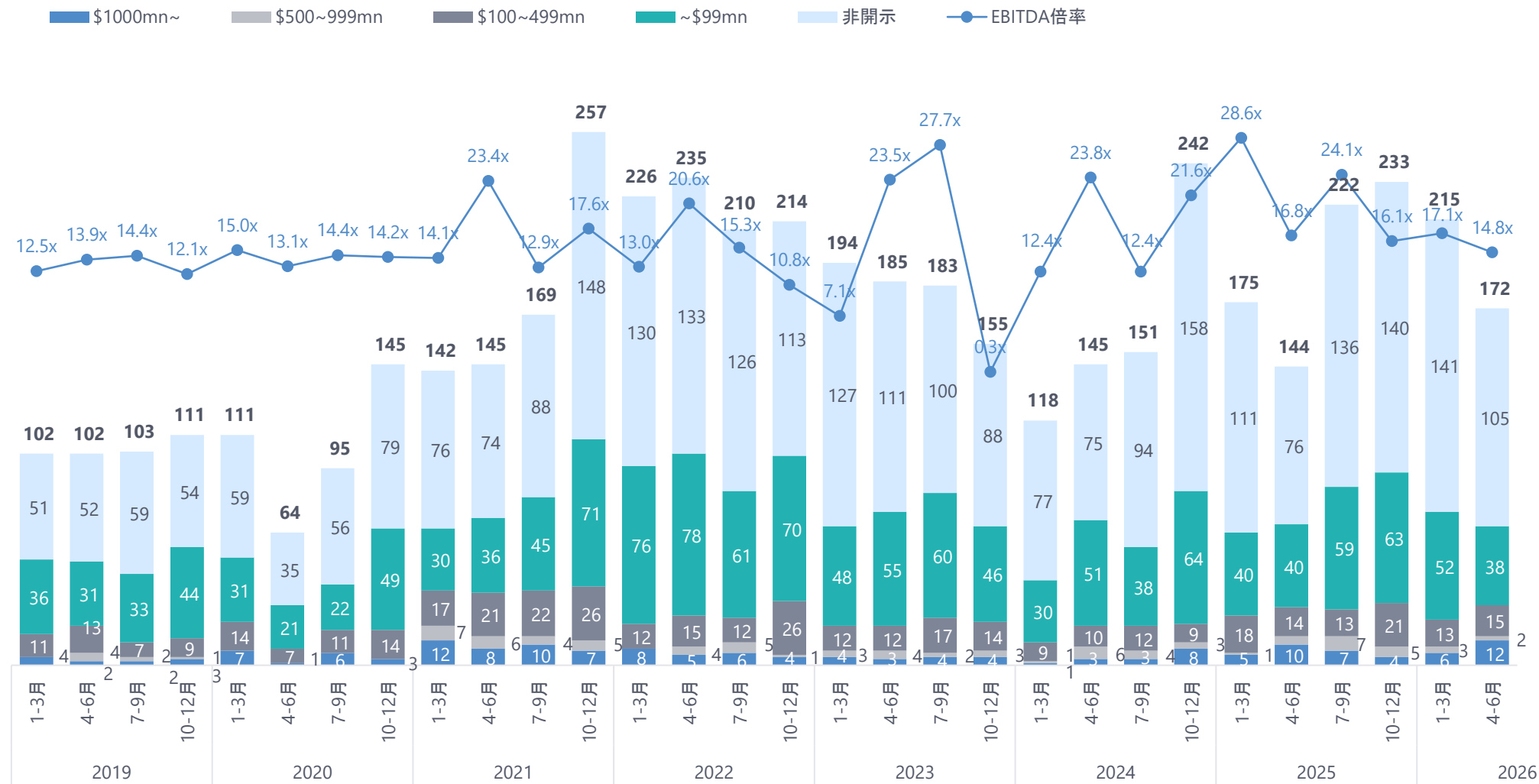
⑤ 予知保全/コンディションモニタリング領域強化

- 工場や建物の自動制御化に伴い、予知保全/コンディションモニタリングなどをはじめとするソフトウェア関連領域への投資が活発化



計測・測定業界におけるM&A動向 2019年以降のM&A案件数・平均EV/EBITDA倍率の推移⁽¹⁾

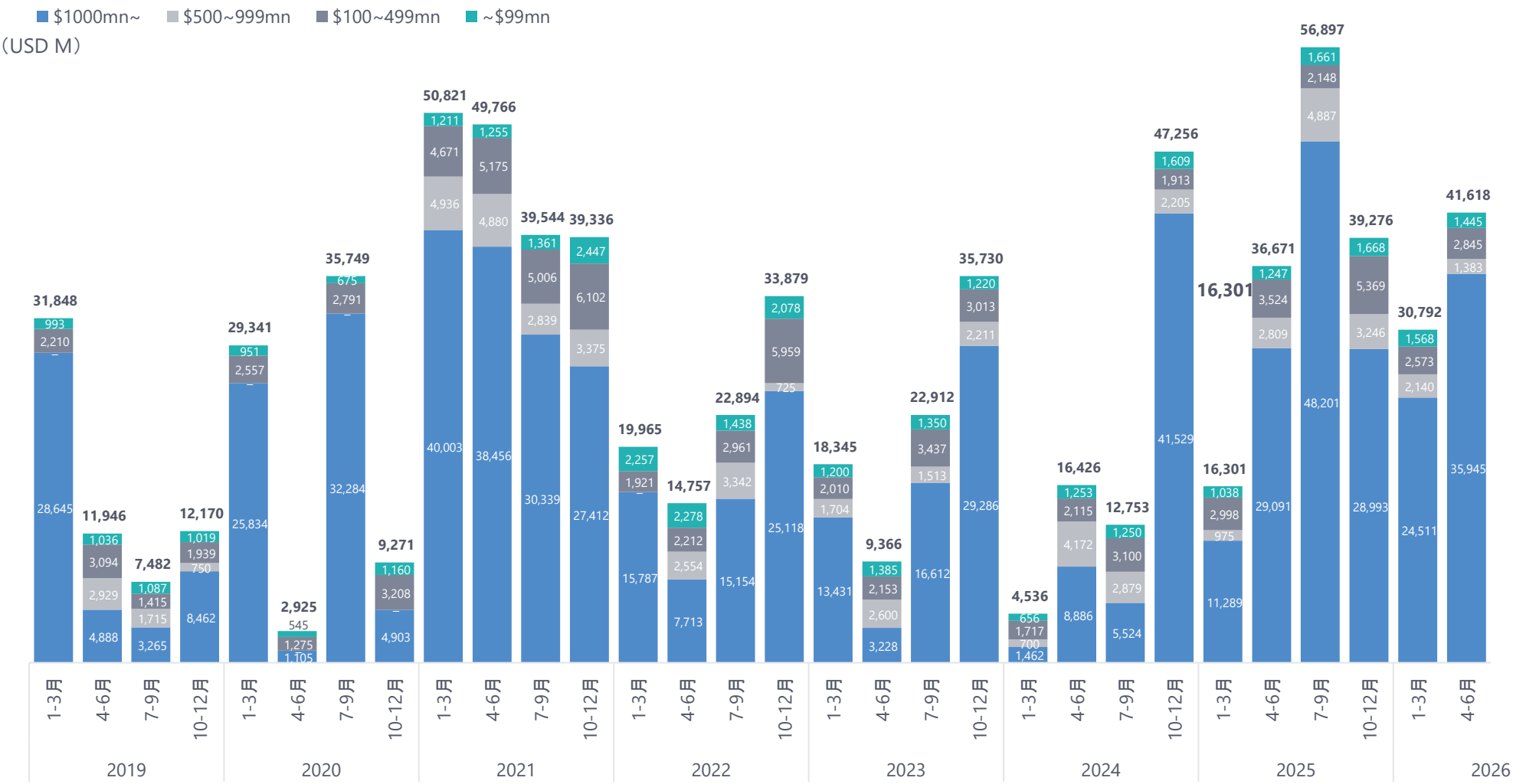
2025年下期にかけて、インフレリスク後退による各国での金利引き下げもあり、M&Aマーケットは回復傾向にあったものの、直近2026年第2四半期はイランを中心とした地政学リスクの高まりや経済の先行き不透明感を受けてM&A件数は減少



出所: Mergermarket, Capital IQ
(1) 2019年以降のAnalytical and scientific instrumentationおよびIndustrial measurement and sensing equipment関連案件を対象として集計。案件金額はデータが取得できる案件のみで集計。データは2026/6/23時点で集計

計測・測定業界におけるM&A動向 2019年以降のM&A案件金額の推移⁽¹⁾

2025年下期から、KKRによる英精密計測機器メーカーSpectrisの買収やソフトウェア技術獲得を企図したSiemensによるDotmatics買収、トプコンの非公開化、WatersによるBDのバイオサイエンスおよびダイアグノスティックソリューションズ事業が統合などの大型案件も散見される



計測・測定業界における直近の主要M&A 2025年2月～(1/3)

公表日	買手	対象企業	対象国	事業内容	買収価格 (USD M)	取得比率
2026/5/21	Existing Shareholders (※Hexagonによるスピンオフ)	Hexagon AB (Asset Lifecycle Intelligence business)		プラント・インフラの運用保守を最適化する設備資産管理および設計ソフトウェアを提供	4,576	0%→100%
2026/4/27	Shimadzu Corp	Plasmion GmbH		既存の質量分析計でリアルタイムガス分析を可能にする高感度イオン化技術を展開	NA	0%→75%
2026/4/27	Astorg Partners SA	Thermo Fisher Scientific (Microbiology business)		臨床検査や医薬品分野における、微生物検査用培地・試薬および自動化システム	1,075	0%→100%
2026/4/15	ESCO Technologies Inc	Megger Group		電力インフラの安全性維持向けに、絶縁抵抗計などの電気保守・試験用ポータブル計測機器を展開	2,300	0%→100%
2026/4/13	Hexagon AB	Waygate Technologies		産業用X線CTや超音波技術を活用した工業分野向けの高高度非破壊検査 (NDT) ソリューションを提供	1,450	0%→100%
2026/2/3	Horiba Ltd; HORIBA India Pvt Ltd	Pristine Deeptech Pvt Ltd		次世代半導体や量子センサーなどの先端材料開発向けに、高品質な人工ダイヤモンドを製造	NA	0%→100%
2026/2/2	ESAB Corp	Eddyfi Technologies		重要インフラや工業設備向けに、渦電流探傷や超音波技術を用いた非破壊検査機器を展開	1,450	0%→100%
2025/12/25	Shimadzu Corp	Tescan Group as		材料科学や半導体領域の微細構造解析向け走査型電子顕微鏡などのソリューションを展開	850	0%→100%
2025/9/2	Sysmex Corp	Jeol Ltd (Medical equipment business)		臨床検査センターにおける大量検体処理向けの、生化学自動分析装置など臨床検査機器	NA	0%→100%
2025/8/4	Evident Corp; Evident Scientific Inc	Pramana		病理・ライフサイエンス研究における組織サンプルのデジタル化向けAI搭載スキャナーおよびデータ管理ソフトウェアを提供	NA	0%→100%
2025/7/14	Waters Corp	Becton Dickinson & Co (Biosciences and Diagnostic Solutions business)		免疫学研究や感染症診断向けフローサイトメトリー機器および微生物自動検査システムを展開	16,552	0%→100%

計測・測定業界における直近の主要M&A 2025年2月～(2/3)

公表日	買手	対象企業	対象国	事業内容	買収価格 (USD M)	取得比率
2025/07/02	KKR	Spectris		材料分析・ラボ向け測定機器のほか、センサー・データ収集・テストシミュレーションソリューションを展開	6,648	0%→100%
2025/06/10	Quantum Design International	Oxford Instruments NanoScience		量子、ナノテクノロジー、材料研究向けの先進的なクライオジェンフリー（無冷媒）ツールを展開	85 ⁽¹⁾	0%→100%
2025/06/03	Sensirion Holding	Kuva Systems		石油・ガス産業向けに赤外線カメラを用いたメタン・揮発性有機化合物の濃度監視用IoTソリューションを展開	NA	0%→100%
2025/05/28	CDPQ Brookfield Capital Partners	Antylia Scientific		製薬・バイオフアルマ・ヘルスケア産業など向けに、検査機器および周辺商品を展開	1,340	0%→100%
2025/05/26	Kamstrup	BD Smart Forsyning		水道向けスマートメーターおよび監視・制御などのIoTソリューションを展開	NA	0%→100%
2025/05/20	Keyence	CADENAS		CAD データを核としたマーケティングツールおよび戦略的パーツ管理事業を展開	NA	0%→100%
2025/05/12	Qiagen	Genox		臨床および研究現場におけるゲノムデータ解釈用のAI搭載ソフトウェアツールを提供	70 ⁽²⁾	0%→100%
2025/05/10	Eurofins	Analytisches Institut Bostel		食品の化学的・微生物学的・分子生物学的分析を専門とする研究所	NA	0%→100%
2025/05/09	Macquarie Group	SP Smart Meter Assets		英国においてガス・電気向けスマートメータを展開	1,850	0%→100%
2025/05/06	Ametek	FARO Technologies		ポータブル測定アーム、レーザースキャナー、トラッカー、ソフトウェアなどの3D測定システムを展開	920	0%→100%
2025/05/05	Dover Corp	SIKORA		電線・ケーブル製造工程における精密測定・検査・制御ソリューションを展開	623	0%→100%
2025/05/02	Topcon Healthcare	RetInSight		眼科診療向け網膜画像処理AIソフトウェアを提供	NA	0%→100%
2025/04/25	Emerson Electric Paradigm	Nous Research		分散型インフラストラクチャを活用したオープンソースAIモデルの開発	50	NA (資金調達)

出所: プレスリリース、Mergermarket
(1) マイルストーン条項達成後のアーンアウト対価を含む総額
(2) マイルストーン条項達成後の未公表のアーンアウト対価は除く

計測・測定業界における直近の主要M&A 2025年2月～(3/3)

公表日	買手	対象企業	対象国	事業内容	買収価格 (USD M)	取得比率
2025/04/25	Anritsu Corp	Dewetron		電力計測およびデータ収集の測定器を提供	NA	0%→100%
2025/04/22	KKR	Biotage		有機合成、分析化学、タンパク質精製の研究・検査で使用する自動化装置や関連消耗品の販売	1,010	0%→100%
2025/04/16	Bruker Corp	RECIPE Chemicals + Instruments		HPLC、LC-MS/MS、ICP-MSキットなどの治療薬モニタリングキットおよび臨床体外診断キットを提供	NA	Majority
2025/04/08	Siemens	Downstream Technologies		プリント基板設計ツール、製造データ分析・処理ソリューションを提供	NA	0%→100%
2025/04/07	Horiba	EtaMax Co		半導体ウェハ検査装置およびソフトウェアの製造、開発、販売	NA	0%→100%
2025/04/02	Siemens	Dotmatics		ライフサイエンス業界向けR&Dソフトウェアの開発・販売	5,100	0%→100%
2025/04/01	Eurofins	Kalyx Australia		農業・園芸向け製品開発や農園環境のモニタリング、穀物の品質検査などに対応	NA	0%→100%
2025/03/28	KKR JIC	Topcon		眼科医療機器、測量機器、農業用センサー、建設機械向けセンサーなどの測量機器・光学機器を展開	2,800	0%→100%
2025/03/26	Shimadzu Corporation	PeptiStar		ペプチド医薬品や核酸医薬品の原薬のCDMO	NA	Minority
2025/03/24	Nikken Corp	Keisoku Net Service		インフラ・建設現場における安全管理と施工品質の向上を目的とした計測ソフトウェアの開発・販売	NA	0%→100%
2025/03/19	Advanced Instruments	Nova Biomedical		血液ガス分析装置、POC用メーターおよび細胞培養／バイオテクノロジー分析装置	2,200	0%→100%
2025/03/03	Viavi Solutions	Spirent Communications (High speed ethernet and network security business lines)		高速イーサネットテストソリューションプラットフォームおよびネットワークセキュリティテストソリューションを展開	425 ⁽¹⁾	0%→100%
2025/02/25	Thermo Fisher Scientific	Solventum Corp (Purification & Filtration business)		バイオ医薬品の製造、医療技術、産業用途で使用する精製・ろ過ソリューションを展開	4,100	0%→100%

アクティビストにとって魅力的な投資対象企業の特徴並びに要求例

増配や投資が可能な現預金を有する企業の他、市場の再評価が期待できる企業や大口のEXIT先がある先などが狙われやすい
具体的な提案としては、Ⅰ.株主還元、Ⅱ.事業売却による事業ポートフォリオ整理、Ⅲ.他社との経営統合または売却が多い

観点	ターゲット企業の特徴	ターゲットとする理由	要求例
PL/CF	① 積極的な投資が不要	● 既存事業を継続する上で積極的な投資の必要がなく、拡大を目的とした投資機会も限定的なのであれば、多額のキャッシュを保有する必要がない	■ 配当還元や自己株買い ■ 企業価値向上の投資
	② 業況が安定している (低成長含む)	● 外部環境などで業況が安定しない企業は手元資金を厚くする必要があるが、業況安定していれば、必要以上の現預金を保有する必要はない	■ 新事業、新領域への展開 ■ 低成長の経営責任追及
投資効率	③ 投資効率が低い (ROI, ROE)	● 他社に比して投資効率が低い場合、経営へのテコ入れにより当該企業のポテンシャルを引き出すことができる	■ 経営改善策の提案 ■ 不採算事業の売却
BS	④ 多額の現預金および 事業外資産を保有 (持合株・遊休不動産)	● 多額の現預金および事業継続に必要な資産は、保有の合理性を問うことが可能。保有資産に含み益があればなお良い	■ 持合株・不動産の売却 ■ 不動産の有効活用
	⑤ Debtの調達余力がある	● 株価吊り上げの為に投資や増配・自己株買いの原資を新たな資金調達で確保できる	■ Debtによる調達を原資とした配当還元、自己株買い、投資
利益還元	⑥ 株主還元性向が低い	● 株主への還元が不十分として増配や自己株買いを要求することが可能	■ 増配 ■ 自己株買い
	⑦ 配当可能利益が厚い	● 増配・自己株買い要求は市場から好判断材料として捉えられ、効果的な吊り上げが期待できる	
Valuation	⑧ マルチプルが低い (特にPBR)	● 純資産と比較して株価が割安であることから、投資妙味がある	■ ディスクロージャーの徹底 ■ (一部)アセットを売却することによるバリューの顕在化 ■ 事業ポートフォリオの整理
	⑨ 複数事業の混在による 事業の本源的価値と株式市場の 評価とのギャップ	● 複数の事業を保有する企業において、各事業の価値の合計>会社全体の価値となっている場合(=低成長事業が全体の評価を押し下げている場合)、事業売却により価値を高めることができる	
株主構成	⑩ 資金力のある大株主がいる/ 安定株主比率が低い	● 最終的に100%子会社化が見込まれることから、大株主に対して高値でEXITできる可能性がある(親子上場企業など) ● 安定株主が少ないと第三者からの買収提案を退け難い	■ 大株主による完全子会社化による株式買取要求 ■ 第三者による買収提案
インダストリー ロジック	⑪ 統合の可能性、合理性がある	● 業界再編の可能性が高い業種においては、経営統合などに乗じてExitできる可能性が高い	■ 統合の推進による株式買取要求

当セクターにおける主なアクティビスト参入企業

2023年以降、資本効率改善や企業価値向上に向けた政府や東証による具体的な要請・指針が公表されたことを受けて、日本企業に対するアクティビズムが活発化。当セクターにおいても、昨年以降複数の企業にアクティビストが参入

#	企業名	アクティビスト	アクティビスト参入時期 ⁽¹⁾	持分比率 / 時点 ⁽²⁾	保有目的
1	 A&Dホロン	・ ストラテジックキャピタル	2026/2/13	9.9% (2026/5/1時点)	株主価値向上のために発行者との建設的対話および発行者への重要提案行為などを行うこと、並びに純投資
2	 堀場製作所	・ Oasis Management Company	2025/11/28	10.60% (2026/5/26時点)	発行者における取締役会の実効性向上、コーポレートガバナンスの維持および改善、中長期的な企業価値の向上、並びに顧客、サプライヤー、従業員、貸付人、株主その他のステークホルダーの保護
3	 コニカミノルタ	・ Effissimo Capital Management	2024/10/15	10.60% (2026/5/26時点)	純投資 (顧客資産運用のため)
4	 日本電子	・ みさき投資	2024/7/30	4.71% (2025/5/21時点)	『働く株主』という、みさき投資のコンセプトと、日本版スチュワードシップ・コードの精神に則った、『経営者と投資家の建設的対話を通じた中長期的な投資リターンの拡大』の実現
5	 ニコン	・ Silchester International Investors	2024/2/29	7.08% (2026/4/20時点)	増配、自己株式の買い入れの頻度又は総量、金庫株消却その他資本政策の変更の要求
6	 東陽テクニカ	・ シンプレクス・アセット・マネジメント	2021/4/15	12.13% (2023/2/9時点)	投資一任契約または投資信託委託契約に基づく純投資

計測・測定セクター 主要PEファンド銘柄(国内)

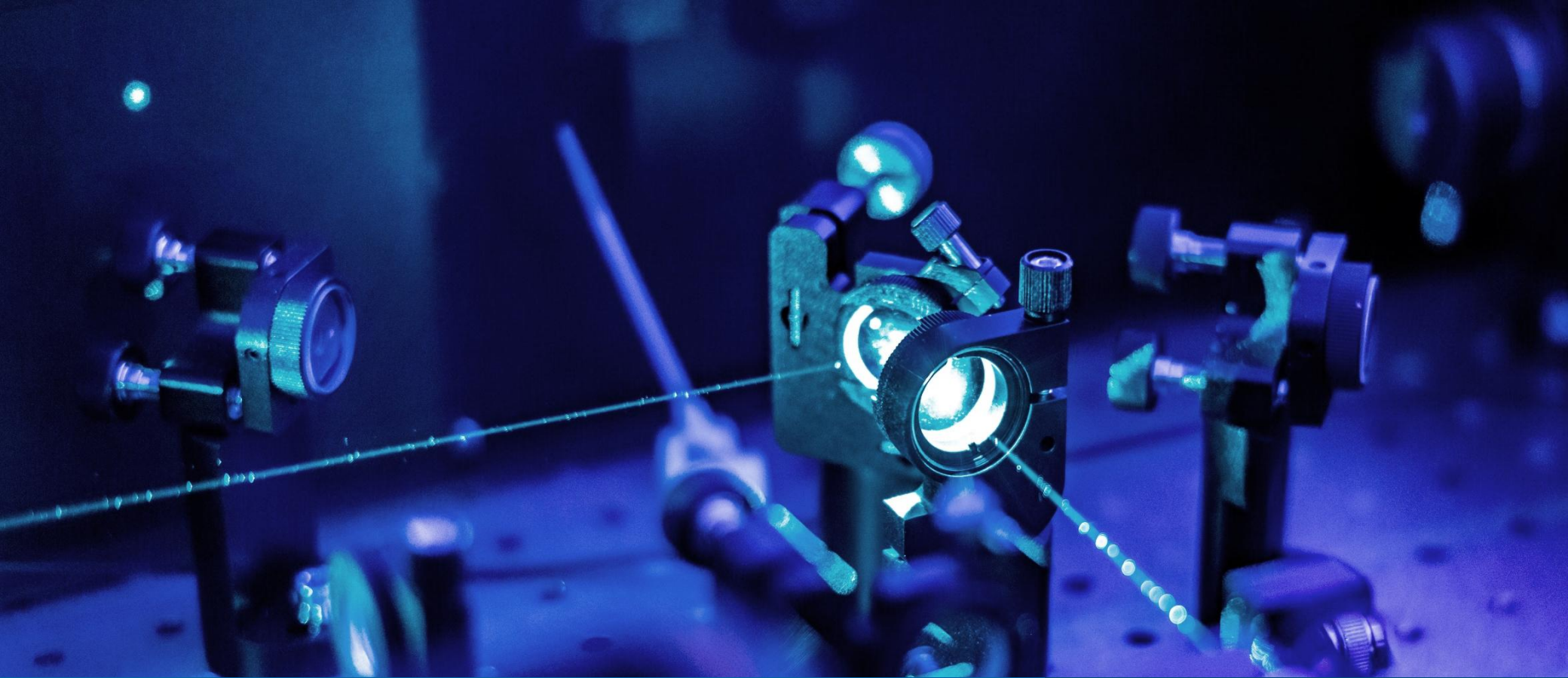
対象会社	保有ファンド(保有比率)	投資開始時期	財務(億円)	本社所在地	事業概要
 TOPCON トプコン	KKR (マジョリティ)/ JIC (マイノリティ)	2025/9	(FY25) 売上高: 2,160億円	東京都	- 測量機やGPS受信機、眼科向け医用機器を中心とした精密機器メーカー - 光学技術が強い
 日本結晶光学株式会社 日本結晶光学	丸の内キャピタル (100%)	2024/5	(FY22/3) 売上高: 28.8億円	群馬県	- 半導体露光装置などに使用されるフッ化カルシウム結晶の製造・販売(光学結晶事業) - X線検査装置で使用するシンチレータおよびディテクタの製造・販売(検出デバイス事業)
 Ryoshin Tech 株式会社 菱進テック 菱進テック	雄渾キャピタル・ パートナーズ	2024/3	(FY23/9) 売上高: 12.3億円	愛媛県	半導体検査(ウェハテスト)、テストプログラムの開発および半導体試験装置の改造
 EVIDENT Evident	Bain Capital (100%)	2023/4	(FY22/3) 売上高: 1,191億円	東京都	- 旧オリンパス 科学事業 - 顕微鏡、工業用内視鏡、非破壊検査機器、X線分析計などの開発、製造、販売およびソリューションの提供など
 ALOKA ALOKA	日本みらいキャピタル (100%)	2022/6	(FY23/3) 売上高: 64.4億円	東京都	- 旧日立製作所 放射線測定事業 - 放射線測定装置の設計、製造、販売、保守
 VS TECHNOLOGY MACHINE VISION OPTICS VS Technology	アント・キャピタル ・パートナーズ (80%)	2020/6	(FY22単体) 売上高: 48.1億円	東京都	マシンビジョンレンズ、照明、監視用レンズの製造 画像処理ソリューション

計測・測定セクター 主要PEファンド銘柄(米国)

対象会社	保有ファンド(保有比率)	投資開始時期	財務(USD mm)	本社所在地	事業概要
 Alpha Measurement Solutions	Prairie Capital (majority)	2018/12	n.a.	Houston, TX	水質、ヘルスケア、その他産業向け液体センサーおよび水質測定・測定ソリューション
 Calibration Technologies	Astor Place Holdings (majority)	2022/10	n.a.	Columbia, MO	食品飲料、低温物流、その他産業向けガス検知システムおよびセンサーの製造
 CIMSense	AEA Investors (minority)	2021/5	n.a.	Lafayette, NJ	産業用水、ライフサイエンス市場向けのコントロール、メーター、計測機器およびセンサー
 Dickson	May River Capital (majority)	2018/4	(2018) 売上高:\$16 mm EBITDA: \$5mm	Addison, IL	ヘルスケア、製薬、医療機器、食品飲料向け環境モニタリング機器およびクラウドモニタリングシステム
 DwyerOmega	Arcline Investment Management (majority)	2022/7	(2021)売上高 Dwyer: \$190 mm Omega: \$177 mm	Michigan City, IN	IEQ、ビルオートメーション、産業プロセス、環境用途向けセンサーおよび計装ソリューション
 Industrial Physics	KKR (majority)	2023/7	n.a.	New Castle, DE	食品飲料および包装などの市場向けに品質管理・検証に使用される計測・検査機器を提供
 Process Insights	Industrial Growth Partners (majority)	2023/7	n.a.	Houston, TX	半導体、研究開発、ライフサイエンス、化学、環境モニタリング、食品飲料、金属、水質管理などの市場向けガスおよび液体分析機器
 SpotSee	Harbour Group (majority)	2019/11	n.a.	Dallas, TX	輸送中、工場内、倉庫内における衝撃、温度、傾きなどのリアルタイム環境モニタリングソリューションを提供

計測・測定セクター 主要PEファンド銘柄(欧州)

対象会社	保有ファンド(保有比率)	投資開始時期	財務(USD mm)	本社所在地	事業概要
 AST International	Blantyre Capital (majority)	2019/9	n.a.	Germany	電動モビリティ、自動運転、インフラ用途向け流体、ガス、電圧電流測定用センサーを提供
 Flow-tronic	Sophora Unternehmerkapital Noshaq Ostbelgieninvest	2024/4	(2023) EBITDA: \$0.7 mm	Belgium	水道および廃水用フローメーターを提供
 ibg Prüfcomputer	Nordwind Capital (majority)	2016/5	n.a.	UK	自動車、電子機器、風力発電および航空部品の非破壊検査向け渦電流探傷試験機器の開発・製造
 Senseca	Genui Partners (majority)	2021/12	(2021) 売上高: \$51.5 mm EBITDA: \$10.2 mm	Germany	プラントエンジニアリング、輸送、環境、計測、水処理などの市場向け産業センサーおよび電子機器・環境計測機器



Appendix

Data Sheet

国内主要企業の財務トレンド

04

マーケットデータ (1/2)

(億円)

会社名	時価総額 2026/7/1	Net Debt Latest	企業価値 2026/7/1	EV/ Sales FY+1(E)	EV / EBITDA FY+1(E)	PER FY+1(E)	PBR Latest	Revenue FY+1(E)	EBITDA FY+1(E)	Net Income FY+1(E)	自己資本 Latest	売上高 成長率 前期比	EBITDA margin FY+1(E)
国内総合計測・測定													
キーエンス	197,973	(14,939)	183,034	13.6x	25.2x	38.9x	5.7x	13,465	7,277	5,085	34,715	15.2%	54.0%
堀場製作所	12,044	(900)	11,145	3.0x	13.7x	24.8x	3.5x	3,730	812	485	3,446	12.0%	21.8%
島津製作所	11,769	(1,568)	10,200	1.8x	10.6x	21.4x	2.1x	5,750	964	550	5,652	2.5%	16.8%
東京精密	8,491	(384)	8,119	4.5x	17.8x	30.3x	4.4x	1,815	456	280	1,917	8.8%	25.1%
浜松ホトニクス	7,977	(118)	7,875	3.4x	20.1x	48.6x	2.5x	2,320	391	164	3,214	9.4%	16.9%
リガク・ホールディングス	6,082	387	6,468	6.4x	26.2x	48.7x	7.0x	1,010	247	125	874	7.2%	24.5%
アンリツ	6,000	(453)	5,548	4.0x	21.3x	40.0x	4.5x	1,400	260	150	1,327	19.2%	18.6%
日本電子	3,784	(118)	3,666	2.2x	11.5x	17.8x	2.6x	1,640	319	213	1,449	(8.6%)	19.4%
日置電機	1,683	(145)	1,537	3.2x	13.5x	22.3x	3.9x	477	114	75	434	17.7%	23.9%
ジーエルテクノHD	844	(14)	830	1.7x	8.7x	15.5x	1.7x	500	96	55	495	6.0%	19.1%
東陽テクニカ	413	(10)	403	1.0x	8.9x	15.9x	1.4x	390	46	26	297	19.8%	11.7%
共和電業	211	(51)	160	1.0x	8.2x	17.6x	1.1x	165	20	12	184	1.4%	11.8%
東亜ディーケーケー	167	(51)	116	0.6x	6.0x	18.3x	0.7x	189	19	9	230	6.1%	10.2%
小野測器	92	(30)	65	0.4x	3.6x	11.6x	0.6x	150	18	8	165	10.1%	12.1%
			Mean	3.2x	13.4x	25.6x	2.8x					9.5%	20.2%
			Median	2.6x	12.5x	21.9x	2.5x					9.7%	17.7%
(USD MM)													
海外総合計測・測定													
Thermo Fisher Scientific	190,764	39,905	230,797	4.8x	18.6x	26.0x	3.7x	47,760	12,396	7,337	51,934	7.2%	26.0%
Danaher	137,109	13,983	151,100	5.8x	18.2x	31.0x	2.6x	25,964	8,317	4,417	52,949	5.7%	32.0%
Keysight Technologies	57,352	351	57,703	8.4x	26.5x	46.6x	9.1x	6,897	2,181	1,231	6,331	28.3%	31.6%
AMETEK	54,351	1,974	56,325	7.0x	21.9x	32.6x	5.0x	8,014	2,572	1,665	10,919	8.3%	32.1%
Agilent Technologies	37,674	1,735	39,409	5.3x	18.3x	26.0x	5.3x	7,447	2,155	1,450	7,122	7.2%	28.9%
Teledyne Technologies	30,633	1,955	32,588	5.1x	20.3x	32.2x	2.9x	6,428	1,609	950	10,704	5.1%	25.0%
Mettler-Toledo International	26,278	2,168	28,446	6.7x	21.5x	29.2x	NM	4,235	1,323	901	(42)	5.2%	31.2%
Halma	19,780	1,022	20,802	5.4x	21.5x	34.3x	6.9x	3,877	969	577	2,879	13.1%	25.0%
Fortive Corporation	18,840	3,226	22,075	5.1x	16.7x	30.4x	3.1x	4,339	1,318	620	6,083	4.3%	30.4%
Revvity	12,588	2,490	15,078	5.3x	16.9x	43.4x	1.8x	2,832	894	290	7,183	(0.8%)	31.6%
Bruker Corporation	9,231	2,105	11,390	3.2x	17.4x	59.6x	3.8x	3,589	654	155	2,449	4.4%	18.2%
Renishaw plc	4,893	(300)	4,592	4.4x	19.5x	34.1x	4.0x	1,055	235	144	1,213	11.4%	22.3%
Oxford Instruments	2,263	(83)	2,180	3.7x	17.5x	31.3x	5.0x	589	124	72	452	4.7%	21.2%
			Mean	5.4x	19.6x	35.1x	4.4x					8.0%	27.3%
			Median	5.3x	18.6x	32.2x	3.9x					5.7%	28.9%

出所: Capital IQ

(1) アナリスト予想が取得可能な企業については、アナリスト予想値をもとに作成。小野測器、共和電業、ジーエルテクノHD、東亜ディーケーケー、東陽テクニカ、日置電機、チノー、ニレコは会社予想をもとに作成

(2) 国内総合計測・測定の平均値・中央値の計算からはジーエルテクノHDおよびリガクを除外

マーケットデータ (2/2)

(億円)

会社名	時価総額 2026/7/1	Net Debt Latest	企業価値 2026/7/1	EV / Sales FY+1(E)	EV / EBITDA FY+1(E)	PER FY+1(E)	PBR Latest	Revenue FY+1(E)	EBITDA FY+1(E)	Net Income FY+1(E)	自己資本 Latest	売上高 成長率 前期比	EBITDA margin FY+1(E)
国内自動化・制御													
横河電機	14,426	(1,833)	12,692	2.1x	11.7x	24.7x	2.8x	6,150	1,081	585	5,200	1.7%	17.6%
オムロン	11,802	747	14,195	1.7x	15.8x	40.7x	1.4x	8,200	898	290	8,359	6.9%	10.9%
アズビル	8,621	(904)	7,749	2.5x	13.7x	24.4x	3.4x	3,150	568	353	2,529	5.4%	18.0%
チノー	278	(53)	257	0.8x	6.1x	13.0x	1.2x	325	42	22	234	2.7%	13.0%
ニレコ	207	(50)	157	1.3x	7.3x	14.3x	1.2x	125	22	15	171	13.4%	17.4%
			Mean	1.7x	10.9x	23.4x	2.0x					6.0%	15.4%
			Median	1.7x	11.7x	24.4x	1.4x					5.4%	17.4%

(USD MM)

海外自動化・制御													
Siemens	239,949	51,819	299,227	3.2x	17.2x	24.8x	3.3x	94,468	17,444	9,678	73,334	5.6%	18.5%
Schneider Electric	177,053	17,397	194,742	3.9x	18.1x	29.2x	6.4x	49,586	10,752	6,066	27,562	8.4%	21.7%
Emerson Electric	78,145	12,266	90,427	4.8x	16.8x	28.4x	3.8x	18,842	5,390	2,755	20,303	4.6%	28.6%
Hexagon	22,436	1,453	23,925	5.2x	10.1x	9.1x	1.6x	4,579	2,379	2,479	13,699	(25.9%)	52.0%
Tecan Group	2,723	(115)	2,608	2.4x	14.8x	42.5x	1.9x	1,091	176	64	1,425	(0.1%)	16.1%
			Mean	3.9x	15.4x	26.8x	3.4x					(1.5%)	27.4%
			Median	3.9x	16.8x	28.4x	3.3x					4.6%	21.7%

(億円)

国内メーター													
長野計器	857	(9)	859	1.3x	9.9x	19.9x	1.8x	675	87	43	481	(0.3%)	12.8%
大崎電気工業	670	(165)	620	0.6x	5.6x	14.0x	1.2x	1,010	111	48	573	0.1%	11.0%
愛知時計電機	455	(103)	352	0.6x	5.8x	9.9x	0.9x	605	61	46	526	2.3%	10.0%
オーバル	153	(15)	143	0.9x	6.1x	10.8x	1.0x	160	23	14	157	2.6%	14.5%
			Mean	0.8x	6.9x	13.6x	1.2x					1.2%	12.1%
			Median	0.8x	6.0x	12.4x	1.1x					1.2%	11.9%

(億円)

国内その他コングロメリット													
富士フイルムHD	41,103	8,565	49,715	1.4x	9.3x	14.7x	1.1x	34,700	5,374	2,800	38,396	3.4%	15.5%
富士電機	20,578	136	21,141	1.7x	10.3x	19.6x	2.6x	12,750	2,043	1,050	8,002	3.9%	16.0%
ニコン	7,461	619	8,095	1.1x	15.2x	NM	1.3x	7,400	531	100	5,868	9.3%	7.2%
コニカミノルタ	2,714	2,875	5,714	0.5x	5.3x	9.5x	0.5x	11,050	1,087	285	5,365	1.6%	9.8%
			Mean	1.2x	10.0x	14.6x	1.4x					4.5%	12.1%
			Median	1.3x	9.8x	14.7x	1.2x					3.6%	12.7%

出所: Capital IQ

(1) アナリスト予想が取得可能な企業については、アナリスト予想値をもとに作成。長野計器、愛知時計電機、オーバルは会社予想をもとに作成

Memo

留意事項

本プレゼンテーションは、フーリハン・ローキー株式会社（以下「フーリハン・ローキー」又は「弊社」という。）が貴社（以下「貴社」又は「受領者」という。）の為に、貴社内部限りの利用を前提として作成したものです。本プレゼンテーションは、貴社により今後実行される可能性のある一つ又は複数の取引について予備的な評価をする際の補助とすることを目的として作成されたものであり、本プレゼンテーションの内容の一部又は全部を公表する権利、また、いかなる第三者に対しても開示する権利も受領者に付与するものではありません。本プレゼンテーションは、貴社と協議する際の資料としての使用の為にのみ作成されたもので、弊社による口頭説明によって補完され、かつ、その説明との関連においてのみ考察されるべきものです。弊社の事前の書面による同意なしに、本プレゼンテーションおよびその内容を他のいかなる目的にも使用することはできません。

弊社は、公共の情報源から入手した情報、その他弊社が独自に入手・検討した情報が、全て正確かつ完全であることを前提とし作成されたものであり、当該情報は、受領者が本取引を進めるか否かを評価するために必要とする可能性のあるすべての情報を含むとは限りません。フーリハン・ローキーならびにその役員、取締役、従業員、代理人および関係者は、本プレゼンテーションに含まれる情報（将来の予測、事業の推測、見込みまたは利益に関する成果または合理性を含む。）または受領者もしくはそのアドバイザーに対して書面もしくは口頭で提供されるその他一切の情報の正確性、完全性、クオリティ、妥当性または適切性に関し、現在または将来において、明示的にも黙示的にも表明または保証を行わず、義務または責任を負わず、かつ、それらの一切の責任は明示的に免責されます。本プレゼンテーションに含まれる一切の情報に関し、フーリハン・ローキーは独自の検証を行っていません。

本プレゼンテーションの内容は、法律、税務、規制、会計または投資に関する助言または勧告として解釈してはならないものとします。いかなる受領者も、本取引に関する法的事項その他の関連事項に関し、独自のカウンセル、税務アドバイザーおよび財務アドバイザーと相談すべきです。本プレゼンテーションは、すべての情報を網羅することを意図しておらず、また、貴社が必要とする可能性のあるすべての情報を含むことを意図していません。



Houlihan
Lokey

フーリハン・ローキー株式会社
〒106-0041 東京都港区麻布台 1-3-1
麻布台ヒルズ 森JPタワー 49階
+81 3 6212 7100

CORPORATE FINANCE
FINANCIAL RESTRUCTURING
FINANCIAL AND VALUATION ADVISORY

HL.com